

第102回 定期総会

令和8年5月17日(日)



琉球古典音楽 野村流音楽協会

協会本部：〒904-2151 沖縄市松本5-16-3
携帯電話 090-9788-7404
TEL・FAX (098)937-3015

事務局：〒904-0417 恩納村真栄田18
携帯電話 090-1942-5829
EMAIL mamajun777@outlook.jp

協会 WEB <http://nok-okinawa.jp>
協会 EMAIL info@nok-okinawa.jp



第102回 定期総会

令和8年5月17日（日）午後1時
うるま市石川健康保健センター2階

司会：古屋順子事務局長

会 順

◇御前風斉唱（かぎやで風節・恩納節・ごえん節・中城はんた前節・こてい節）

【1】総会

1. 開会のことば・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 銘苅盛隆副会長
2. 会長あいさつ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 糸数昌治会長
3. 免許状授与・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 糸数昌治会長
4. 免許取得者代表あいさつ・・・・・・・・・・・・・・・・ 新師範：木下 裕之
5. 激励のことば・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 糸数昌治会長
6. 来賓祝辞・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 普久原 均 琉球新報社代表取締役社長
仲宗根 巴津美 琉球箏曲興陽会会長
7. 審議（議長は会長、会則第12条第2項）・・・・・・・・ 糸数昌治会長
 - (1) 令和7年度事業並びに会務報告・・・・・・・・ 仲田知広書記
 - (2) 令和7年度決算報告・・・・・・・・・・・・・・・・ 比嘉いつみ会計
 - (3) 会計監査報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 久場良昌 監査委員
 - (4) 令和8年度事業並びに会務計画（案）・・・・ 仲田知広書記
 - (5) 令和8年度予算（案）・・・・・・・・・・・・・・ 比嘉いつみ会計
 - (6) 会則及び規程の一部改正・・・・・・・・・・・・ 古屋順子事務局長
 - (7) 役員承認・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 仲間 稔 理事会代表
8. 表彰・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 糸数昌治会長

◎表彰 若衆三線大使

◇大城 昇馬（県教育長賞） 山城 愛樹（琉球新報賞）

◎感謝状

離任 ◇比嘉 いつみ

所属会員 15 名以上且つ研究所開設 5 年以上継続 ◇与那嶺直樹 (今帰仁支部)

9. 花束贈呈

㊦認定「現代の名工」三線工 ◇又 吉 章 盛

10. 閉会のことば・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 島袋功副会長

【2】演奏節組

1. 斉唱 揚作田節 東里節 赤田花風節(松竹梅)

2. 独唱

第10回若衆芸術祭 琉球新報賞	恩納節	歌・三線	山城愛樹	箏	神田結菜
第10回若衆芸術祭 県教育長賞	干瀬節	歌・三線	大城昇馬	箏	神田梨央菜

新教師	仲間節	歌・三線	知念美佐紀	箏	古堅優稀
新師範	百名節	歌・三線	池原雅人	箏	安富祖和枝

3. 斉唱 立雲節

目 次

1. 令和7年度事業並びに会務報告	1～12
2. 令和7年度決算報告書	
(1) 一般会計収支決算書	13
(2) 協力事業等明細書	14～15
(3) 第19回琉楽奨励賞決算書	16
(4) 第39回組研・舞研合同発表会決算書	17
(5) 創立100周年記念事業決算書	18
(6) かりゆし公演収支決算書	19
(7) 工工四販売事業収支決算書	20
(8) 財産目録	21
3. 事業並びに会務会計監査報告書	22
4. 令和8年度事業並びに会務計画(案)	23～24
5. 令和8年度予算(案)	
(1) 一般会計予算(案)	25
(2) 第20回琉楽奨励賞予算(案)	26
(3) 第40回組研・舞研合同発表会予算(案)	27
(4) 創立100周年記念事業予算(案)	28
(5) 工工四販売事業予算(案)	29
6. 一部改正について	30～33
7. 参考資料(教師会・師範会担当支部輪番表)	34
7. 支部別会員数	35
8. 本部会員及び事務局員・理事及び監事・支部役員・各種委員会	36～46
9. 琉球古典音楽野村流音楽協会々則(第1章～第9章)	47～50
10. 慶弔規程	51
11. 琉球古典音楽野村流音楽協会師範会並びに教師会規程	52
12. 免許審査規程	53～56
13. 琉球古典音楽野村流音楽協会組踊及び舞踊地謡研修部規程	57～58
14. 旅費に関する規程	59
15. 表彰に関する規程	60
16. 工工四監修・編集・校正等に関する要綱	61
17. 資料収集編集委員会設置要綱	62
18. 令和7年度組踊地謡研修部・舞踊地謡研修部修了者	63
19. 令和7年度教師・師範免許合格者	64
20. 令和7年度第19回琉楽奨励賞合格者	65～70
21. コンクール受賞者	71～72
22. 令和7年度第10回おきなわ伝統芸能「若衆芸術祭」参加児童生徒名簿	73
23. 歴代会長一覧	74
24. 入部申請書	75

令和7年度事業並びに会務報告

自 令和7年4月01日

至 令和8年3月31日

令和7年度は会員各位のご理解とご協力により、こども達によるかりゆし芸能公演や各種事業を滞りなく実施することができました。深く感謝申し上げますとともに、以下のとおり報告いたします。

月	日	曜	時間	事 項
4	5	土	10:00	第1回執行部会 議題 1. 令和6年度会務報告、決算関係 2. 総会について 3. その他 場所:北谷ニライセンター
	6	日	9:00	◎組踊地謡研修部月例研修会、第39回定期総会 場所:嘉手納町総合福祉センター 指導者:島袋英治 節組:斉唱「かぎやで風節」組踊「花売之縁」
	12	土	9:30	◎令和6年度会計監査 監事 久場 良昌、 兼島 兼良、 新垣 和則 場所:北谷町ニライセンター
			13:00	◎教師研修会 指導者:宮城勝秀 場所:北谷商工会議所 ホール 節組:港原節、出砂節、本散山節、暁・瓦屋節、干瀬節、子持節、散山節、世榮節、垣花節、天川之踊
	19	土	10:00	◎第1回幹事会 議題 1. 令和6年度会務報告、決算 2. 令和7年度事業計画案、予算案 3. 第101回定期総会について 4. 師範、教師研修会規程の一部改正について 3. その他 場所:北谷ニライセンター
	20	日	14:30	◎組踊地謡研修部舞踊地謡研修部合同修了式及び懇親会 場所:沖縄市農民研修センター ホール
	26	土	10:00	◎相談役・理事会 議題 1. 会務報告、決算について 2. 事業計画案、予算案について 3. 第101回定期総会についてについて 4. 師範教師研修会の規程の一部改正 5. 創立100周年事業について 6. 創立100周年記念誌について 場所:沖縄市老人福祉センターかりゆし園
	26	土	13:00	◎創立100周年記念事業報告献奏会 場所:世禮國男先生胸像前(彩橋小学校内)

月	日	曜	時間	事 項
4	27	日	13:00	◎創立100周年記念事業報告献奏会 場所：伊差川世瑞先生胸像前（伊差川公園）
	29	火		第30回西島会清明祭 場所：今帰仁コミュニティセンター
5	3	土	10:00	第2回執行部会 議題 1. 第101回定期総会について 2. 琉楽奨励賞審査について 3. その他 場所：北谷ニライセンター
	4	日	9:00	◎組踊地謡研修部月例研修会 場所：嘉手納町総合福祉センター 指導者：上間克美 節組：斉唱：かぎやで風節、天川節之踊 組踊：銘苺子、執心鐘入
	10	土	10:00	沖縄伝統音楽野村流保存会総会 場所：西原町中央公民館
	17	土	11:00	◎野村流始祖先師顕彰碑参拝・那覇支部による清掃 場所：波の上（旭ヶ丘公園内）
	18	日	13:00	◎第101回定期総会 場所：ちやたんニライセンター「カナイホール」 ◇御前風斉唱 （かぎやで風節、恩納節、ごえん節、中城はんた前節、こてい節） 【1】総会 1. 開会のことば 銘苺 盛隆 副会長 2. 会長あいさつ 糸数 昌治 会長 3. 免許状授与 糸数 昌治 会長 4. 免許取得者あいさつ 新垣 達也 5. 激励のことば 糸数 昌治 会長 6. 来賓祝辞 普久原 均 琉球新報社代表取締役社長 仲宗根 巴津美 琉球箏曲興陽会会長 7. 審議（議長は糸数会長：会則第12条第2項） (1) 令和7年度事業並びに会務報告 仲田 知広 書記 (2) 令和7年度決算報告 比嘉 いつみ 会計 (3) 会計監査報告 新垣 和則 監事 (4) 令和8年度事業並びに会務計画（案）. 仲田 知広 書記 (5) 令和8年度予算（案） 比嘉 いつみ 会計 (6) 規程の一部改正 古屋 順子 事務局長

月	日	曜	時間	事項												
5	18	日	13:00	<p>8. 表彰 ◎感謝状贈呈 審査員 徳原 清文、玉城 巖、玉城 秀木、宇栄原 宗真、 沼崎 裕二、宗岡 高、下地 健士、新保 貴子、 加藤 修司、金城 茂、新城 浩文</p> <p>9. 花束贈呈 沖縄県指定無形文化財沖縄伝統音楽野村流保持者認定 宮城 勝秀、吉元 博昌、徳原 清文、内間 悦子、 島袋 功、糸数 昌治</p> <p>10. 閉会のことば 島袋 功 副会長</p> <p>【2】演奏会節組 1. 斉唱 揚作田節、東里節、赤田花風節（松竹梅） 2. 独唱</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>新教師</td> <td>散山節</td> <td>歌・三線</td> <td>大嶺 友里奈</td> <td>箏</td> <td>神里 利枝</td> </tr> <tr> <td>新師範</td> <td>述懐節</td> <td>歌・三線</td> <td>大城 みゆき</td> <td>箏</td> <td>前田 さやか</td> </tr> </table> <p>3. 斉唱 立雲節</p>	新教師	散山節	歌・三線	大嶺 友里奈	箏	神里 利枝	新師範	述懐節	歌・三線	大城 みゆき	箏	前田 さやか
新教師	散山節	歌・三線	大嶺 友里奈	箏	神里 利枝											
新師範	述懐節	歌・三線	大城 みゆき	箏	前田 さやか											
	24	土	14:00	<p>◎師範会 場所：沖縄市老人福祉センターかりゆし園</p> <p>節組 かぎやで風節、長伊平屋節、伊江節一鎖、茶屋節、すき節、 通水節、東江節</p>												
	25	日	13:30	<p>◎舞踊地謡研修部月例研修会 場所：泡瀬公民館 指導者：崎濱 秀光 節組：稲まづん節之踊、獅子舞、本貫花之踊、鳩間節、四つ竹 谷茶前、黒島口説</p>												
	28	水	10:00	<p>野村流合同協議会執行部会 場所：西原町中央公民館</p>												
6	1	日	13:00	<p>◎組踊地謡研修部月例研修会 場所：嘉手納町総合福祉センター 節組：かぎやで風節 組踊：女物狂、孝行之巻</p>												
	7	土	10:00	<p>◎第3回執行部会 場所：北谷町ニライセンター 議題 1. こども舞踊大会地謡割振りについて 2. 令和7年度沖縄県文化功労者表彰候補者について 3. 師範免許、教師免許の交付日について 4. 三線鑑定士について 5. その他</p>												

月	日	曜	時間	事 項
6	9	月	13:00	沖縄芸能連盟 正・副会長会議 場所：琉球新報社（那覇市泉崎）
	14	土	10:00	◎第2回幹事会 議題 1. こども舞踊大会地謡割振りについて 2. 令和7年度沖縄県文化功労者表彰候補者について 3. 師範免許、教師免許の交付日について 4. 三線鑑定士について 5. その他 場所：沖縄市農民研修センター
	15	日	13:30	◎舞踊地謡研修部月例研修会 場所：沖縄市 泡瀬公民館 指導者：宮城武碩 節組：諸鈍節之踊、江佐節、女こてい節、花風之踊 松竹梅之踊、加那ヨ一天川
	21	土	10:00	沖縄伝統音楽野村流保存会執行部会 場所：国立劇場おきなわ
	22	日	17:00	沖縄全戦没者追悼式前夜祭 場所：糸満市平和祈念堂
	24	火	14:00	琉球古典芸能コンクール審査会議 場所：琉球新報社
	26	木	14:00	沖縄芸能連盟総会 場所：琉球新報社
	26	木	14:00	沖縄県三線文化振興協議会総会 ※欠席 場所：沖縄県立博物館・美術館
7	2	水	11:00	野村安趙師を始祖とする野村流先師の遺徳を偲ぶ献奏会
	5	土	10:00	◎第4回執行部会 議題 1. 琉楽奨励賞について 2. 電子工工四勉強会 3. 海外免許試験申込書提出に関する規程について 4. 免許交付日について 5. その他 場所：北谷町ニライセンター
	6	日	9:00	◎組踊地謡研修部月例研修会 場所：嘉手納町総合福祉センター 指導者：島袋功 節組：かぎやで風節 組踊：護佐丸敵討、雪払い
	13	日	13:00	◎教師研修会 場所：沖縄市老人福祉センターかりゆし園 指導者：宮城勝秀 節組：かぎやで風節、坂本節、大田名節、茶屋節、すき節、ヨシヤイノウ節、揚七尺節、中作田節、屋慶名コハデサ節、作田節之踊

月	日	曜	時間	事 項
7	19	土		第60回こども舞踊大会 琉球新報社主催 <協力事業> 場所：琉球新報ホール
	19	土	10:00	◎第19回琉楽奨励賞実技審査 場所：うるま市生涯学習センターゆらてく <審査員> 宮里賢三（北谷）、崎濱秀光（嘉手納）、仲間稔（具志川） 仲宗根朝儀（名護）、上間巽（本部）、与那嶺直樹（今帰仁） 銅 賞：59名（うち笛4名、胡弓1名）、 銀 賞：30名、 金 賞：11名
	20	日	10:00	◎第19回琉楽奨励賞実技審査 場所：うるま市生涯学習センターゆらてく <審査員> 浜川智昭（那覇）、比嘉シゲ子（浦添）、玉城巖（宜野湾） 金城光信（コザ）、漢那惠秀（読谷）、石川紀子（石川） 銅 賞：19名、 銀 賞：18名 金 賞：28名、 会長賞：20名
	20	日	13:30	◎舞踊地謡研修部月例研修会 場所：沖縄市農民研修センター 指導者：銘苅盛隆 節組：柳、むんじゆる、芋引、浜千鳥、黒島口説
	24	木	10:00	沖縄伝統音楽野村流保存会 執行部会 場所：国立劇場おきなわ
8	3	日	9:00	◎組踊地謡研修部月例研修会「組踊ゆかりの地めぐり」 集合：北谷公園駐車場 手水の縁（瀬長島）→波平玉川（糸満）→手水の縁（知念） →平敷屋朝敏タキノー（勝連）
	9	土	10:00	◎工工四電子化説明会 場所：北谷町ニライセンター
			11:00	◎第5回執行部会 場所：北谷町ニライセンター 議題 1. ちゃんな7号発刊について 2. 工工四電子化について 3. 協会の徽章（男性紋）について 4. 琉楽奨励賞 表彰式・激励公演について 5. 第10回沖縄伝統芸能「若衆芸術祭」について 6. かりゆし芸能公演について 7. 組研・舞研合同公演について
	16	土	9:30	◎第19回琉楽奨励賞実技審査 場所：沖縄市農民研修センター

月	日	曜	時間	事項
8	16	土	9:30	<審査員> 宮里賢三（北谷）、崎濱秀光（嘉手納）、仲間稔（具志川） 仲宗根朝儀（名護）、上間巽（本部）、与那嶺直樹（今帰仁） 銅賞：5名、銀賞：2名 金賞：6名、会長賞：2名
			11:00	◎幹事会 場所：沖縄市農民研修センター 議題 1. ちゃんな7号発刊について 2. 工工四電子化について 3. 協会の徽章（男性紋）について 4. 琉楽奨励賞 表彰式・激励公演について 5. 第10回沖縄伝統芸能「若衆芸術祭」について 6. かりゆし芸能公演について 7. 組研・舞研合同公演について
17	日		13:30	◎舞踊地謡研修部月例研修会 場所：沖縄市老人福祉センター かりゆし園 指導者：宮城武碩 節組：天川節之踊、上り口説、下り口説、しょんだふ節之踊、 取納奉行、本嘉手久節之踊、加那ヨ一天川
23	土		14:00	◎師範会 場所：沖縄市老人福祉センターかりゆし園 節組：かぎやで風節、長伊平屋節、十七八節、本花風節、 本調子仲風節、本調子述懐節、揚七尺節、百名節、立雲節
31	日		9:30	◎第6回執行部会 場所：北谷国体道路A&W 議題 1. 組研・舞研合同公演について 2. 琉楽奨励賞 表彰式・激励公演について 3. その他
9	7	日	9:00	◎組踊地謡研修部月例研修会 場所：嘉手納町総合福祉センター 指導者：島袋功 節組：かぎやで風節 組踊：孝行之巻、独唱会
	7	日	13:00	◎第19回琉楽奨励賞入賞者表彰式 場所：読谷村文化センター鳳ホール 式順 1. 開会のことば 2. 主催者あいさつ 3. 表彰 <歌三線の部> 銅賞78名、銀賞50名、金賞45名、会長賞22名 <笛の部>銅賞4名 <胡弓の部>銅賞1名 4. 受賞者代表あいさつ

月	日	曜	時間	事項
9	7	日	9:00	5. 来賓祝辞 普久原均 琉球新報社代表取締役社長 6. 閉式のことば
			14:00	◎第19回琉楽奨励賞入賞者激励公演 場所：読谷村文化センター鳳ホール 演目 1. 会長賞「かぎやで風節」「固節」 2. 銅賞「渡りゾウ」「安波節」 3. 銀賞「秋の踊り」「新安里屋ユンタ」 4. 金賞「上り口説」「恩納節」
	9	火	10:00	野村流合同協議会執行部会 場所：国立劇場おきなわ
	13	土	10:00	沖縄伝統音楽野村流保存会研修会 場所：県立博物館・美術館
	21	日	13:30	◎舞踊地謡研修部月例研修会 場所：沖縄市老人福祉センター かりゆし園 指導者：宮城武碩 節組：下り口説、本貫花、むんじゆる、四つ竹、若衆こてい節、稲まづん節、前之浜、加那ヨ～天川
10	4	土	10:00	◎第7回執行部会 場所：沖縄市農民研修センター 議題 1. 師範免許の受験資格について 2. 教師免許の審査免許の方法について
			5	日
	5	日	10:00	◎組踊地謡研修部月例研修会 黒朝着付け講習会 場所：沖縄市かりゆし園 指導者：島袋英治 節組：萬歳敵討、女物狂
	12	日	13:00	◎教師研修会 場所：沖縄市老人福祉センターかりゆし園 指導者：宮城勝秀 節組：つなぎ節、本嘉手久節、あがさ節、永良部節、通水節、百名節、白鳥節、世栄節、垣花節
	19	日	10:00	沖縄伝統音楽野村流保存会伝承者研修会 場所：県立博物館・美術館
19	日	13:30	◎舞踊地謡研修部月例研修会 「となか」舞踊との手合わせ 場所：沖縄市老人福祉センター かりゆし園 指導者：銘苅盛隆、宮城武碩、崎濱秀光 節組：四つ竹、下り口説、本貫花、むんじゆる、若衆こてい節、稲まづん、前之浜、加那ヨ～天川	

月	日	曜	時間	事 項
10	23	木	10:00	沖縄伝統音楽野村流保存会執行部会 場所：国立劇場おきなわ
11	1	土	10:00	◎執行部会 場所：沖縄市老人福祉センターかりゆし園 栄養室 議題 1. 師範・教師免許状の交付月日について 2. 教師免許の審査免許の方法について
	2	日	11:00	◎組研舞研合同発表会リハーサル 場所：沖読谷村文化センター鳳ホール
	3	月祝	15:00	◎第39回組研舞研合同発表会 場所：沖読谷村文化センター鳳ホール 演目 1. 幕開け斉唱 かぎやで風 2. 組踊 女物狂 3. 舞踊 下り口説 4. 舞踊 本貫花 5. 舞踊 むんじゆる 6. 舞踊 四つ竹 7. 組踊 万歳敵討 8. 舞踊 若衆こてい節 9. 舞踊 稲まづん節 10. 舞踊 前之浜 11. 舞踊 加那ヨ一天川
	12	水	18:00	琉球古典芸能祭 主催：琉球新報社 場所：名護市民会館
	22	土	14:00	◎師範会 場所：北谷町老人福祉センター 節組：かぎやで風節、長伊平屋節、長ぢゃんな節、 伊集早作田節、本伊平屋節、比屋定節、宇地泊節、屋慶名節
12	26	木	10:00	野村流合同協議会 執行部会 場所：国立劇場おきなわ
	7	日	9:00	◎組踊地謡研修部月例研修会 場所：読谷村文化センター 指導者：上間克美 節組：執心鐘入、花売之縁
			10:00	◎第9回執行部会 場所：北谷A&W 議題 1. 今後の工工四業務扱いについて 2. 合同公演について

月	日	曜	時間	事 項
12	16	火	19:30	工工四電子化検討委員会 委員：金城光信、金城愉、渡慶次亨、浜川拓也、呉屋則行、 比屋根良直、古屋順子 場所：北谷A&W
	20	土	13:00	琉球古典芸能コンクール 表彰式 場所：琉球新報社
	21	日	10:00	琉球新報社 若衆芸術祭 場所：琉球新報社
			13:30	◎舞踊地謡研修部月例研修会 場所：読谷村文化センターふれあい交流館講座室 指導者：銘苅盛隆 演目：本花風、固節、若衆こてい節、高平萬歳、瓦屋、加那ヨ天川
	24	水	14:00	琉球新報社 琉球古典芸能コンクール運営委員会 場所：琉球新報社
	27	土	13:00	○理事・相談役会 議題 1. 師範・教師免許状の交付日について 2. 免許審査規程の一部改正について 3. その他 4. 役員選出 5. 報告 場所：うるま市生涯学習センターゆらてく
1	4	日	9:00	◎組踊地謡研修部月例研修会 場所：嘉手納町総合福祉センター 指導者：上間克美 節組：かぎやで風節 組踊：二童敵討、雪払い
	5	月	10:00	◎新春各所あいさつまわり 訪問場所：沖縄県庁文化振興課、琉球新報社、沖縄タイムス社
			11:30	◎第10回執行部会 場所：アフタヌーンティールームりゅうぼう内 議題 1. 創立100周年記念誌の販売金額について 2. 芸能コンクールリハーサルのための新報社舞台借用について 3. その他
	11	日	13:00	◎教師研修会 場所：沖縄市老人福祉センターかりゆし園 指導者：宮城勝秀 節組：かぎやで風節、仲間節、仲村渠節、芋之葉節、すき節、 清屋節、東細節、宇地泊節、綾蝶節、久米阿嘉節、 宮城こはでさ節、前の浜之踊
	12	月 祝	10:00	◎幹事会 議題 1. 創立100周年記念誌の販売金額について 場所：北谷町ニライセンター
	12	月 祝	10:00	2. 芸能コンクールリハーサルのための新報社舞台借用について 3. その他

月	日	曜	時間	事 項
1	14	水	19:00	琉球新報社 新春を寿ぐ 歌い初め舞初め 場所：県立武道館
	17	土	10:00	工工四電子化検討委員会 場所：マクドナルド登川店 委員：金城光信、金城愉、渡慶次亨、浜川拓也、呉屋則行、比屋根良直、古屋順子
	18	日	10:00	○理事・相談役会 場所：うるま市生涯学習センターゆらてく 議題 1. 創立100周年記念誌の販売金額について 2. 芸能コンクールリハーサルのための新報社舞台借用について 3. その他
			13:30	◎舞踊地謡研修部月例研修会 場所：嘉手納町総合福祉センター 4階大集会室 指導者：銘苺盛隆 演目：作田、若衆ゼイ、下り口説、花風、響む高離れ島、天川、汀間当、仲里節、浜千鳥、加那ヨ～天川～かぎやで風
31	土	13:00	琉球新報社 若衆芸術祭表彰式 場所：琉球新報社	
2	1	日	9:00	◎組踊地謡研修部月例研修会 場所：嘉手納町総合福祉センター 指導者：島袋英治先生 節組：かぎやで風節 組踊：二童敵討、雪払い
	7	土	10:00	◎第11回執行部会 場所：農民研修センター和室 議題 1. 師範免許・教師免許について 2. 華の松竹梅について 3. その他
	14	土	10:00	◎幹事会 場所：うるま市生涯学習センターゆらてく研修室 議題 1. 華の松竹梅について 2. 会則について 3. その他
			13:00	◎令和7年度教師・師範免許審査委員委嘱状交付式並びに書類審査 場所：うるま市生涯学習センターゆらてく研修室
15	日	14:00	◎令和7年度かりゆし芸能公演 子ども×伝統芸能 ～翔け!!未来へ嗣 伝統芸能～ 場所：読谷村文化センター 鳳ホール 演目：組踊「ミーチマムイフダ」 独唱「かぎやで風節」「こてい節」「本散山節」「恩納節」 独唱「二揚仲風節」「二揚仲風節」「干瀬節」「子持節」 舞踊「四つ竹」「鳩間節」「かせかけ」「上り口説」	

月	日	曜	時間	事項
2	19	木	10:00	沖縄伝統音楽野村流保存会 執行部会 場所：国立劇場おきなわ
	22	日	13:00	◎舞踊地謡研修部月例研修会 場所：北谷商工会議所 ホール 指導者：銘苺盛隆、宮城武碩、崎濱秀光☑ 節組：自主公演「となか」演目 舞踊との手合わせ 作田、若衆ゼイ、下り口説、花風、響む高離れ島、天川、汀間当、 仲里節、浜千鳥、加那ヨ～天川～かぎやで風
	23	月祝	9:30	工工四電子化検討委員会 場所：北谷A&W 委員：金城光信、金城愉、渡慶次亨、浜川拓也、呉屋則行、 比屋根良直、古屋順子
	26	木	14:00	工工四編集委員会 場所：銘苺良光古典音楽研究所 委員：銘苺良光、松田盛、宮城勝秀
	28	土	14:00	◎師範会 場所：北谷町商工会ホール 節組：かぎやで風節、仲節、清屋節、仲里節、昔田名節、 與儀前ン田節、今風節、中作田節
3	4	水	10:00	さんしんの日 場所：世禮國男像前
	5	木	14:00	工工四編集委員会 場所：銘苺良光古典音楽研究所 委員：銘苺良光、松田盛、宮城勝秀
	7	土	14:00	第12回執行部会 場所：北谷A&W 議題 1. 会則について 2. 令和7年度決算報告・会務報告につて 3. 師範免許・教師免許について 4. 華の松竹梅について 5. その他
	8	日	13:00	◎組踊地謡研修部 第43回自主公演 ～えにし～ 場所：ちやたんニライセンター カナイホール 演目：斉唱 眞福地のはいちやう節 組踊：花売之縁・執心鐘入
	15	日	14:00	◎舞踊地謡研修部 第26回自主公演「となか」～不易流行～ 場所：石川会館大ホール 演目：作田、天川、若衆ゼイ、下り口説、響む高離れ、汀間当、 仲里節、花風、浜千鳥、加那ヨ～天川～かぎやで風節
			14:00	工工四編集委員会 場所：銘苺良光古典音楽研究所 委員：銘苺良光、松田盛、宮城勝秀

月	日	曜	時間	事 項
3	20	金 祝	18:30	◇第5回華の松竹梅公演 琉球新報社主催 *協力事業 場所：琉球新報ホール
	21	土	10:00	◎令和7年度教師実技審査 場所：うるま市生涯学習センターゆらてく ◆審査員 知念政智、仲間稔、宮平永次郎、伊良波ゆかり、渡慶次亨、 諸見里朝弘、儀保明美、眞榮田徹也、与那嶺直樹、仲村智 ◆三線教師合格者 14名 合格率63.6%
	22	日	10:00	◎令和7年度師範及び笛実技審査 場所：うるま市生涯学習センターゆらてく ◆審査員 宇栄原宗真、内間悦子、濱里長希、宮城武碩、眞栄喜清次 新垣和則、與那嶺靖、島袋和盛、仲宗根朝儀（欠） 内間清彦（欠）、東江司（笛） ◆三線師範合格者 12名 合格率100% 笛師範合格者 1名 合格率100% 笛教師合格者 1名 合格率100%
	23	月	21:00	工工四電子化検討委員会 場所：北谷A&W 委員：金城光信、金城愉、渡慶次亨、浜川拓也、呉屋則行、 比屋根良直、古屋順子
	24	火	14:00	工工四編集委員会 場所：銘苺良光古典音楽研究所 委員：銘苺良光、松田盛、宮城勝秀
	27	金	10:00	野村流合同協議会執行部会 場所：西原町社会福祉センター
	28	土	13:00	臨時理事・相談役会 場所：沖縄市老人福祉センターかりゆし園 議題 1. 免許審査規程改正について 2. 会則（組織）改正について 3. 会員の権利義務規程改正について 4. 組踊舞踊地謡研修部規程改正について 5. 工工四電子化報告について 6. その他

令和7年度 一般会計収支決算書

収 入	5,490,628 円
支 出	5,027,494 円
繰越金	463,134 円

自：令和7年 4月 1日
至：令和8年 3月31日
(単位：円)

収入の部

番号	勘定科目	予算額	決算額	増減(△)	摘 要
1	繰越金	186,846	186,846	0	前年度より繰り越し
2	会費	2,300,000	2,105,000	△ 195,000	¥2,070,000、過年度¥8,000、次年度¥27,000
3	寄付金	1,000	0	△ 1,000	
4	免許料	1,800,000	1,075,000	△ 725,000	交付料師範11名×3万円、教師18名×2万円、受験料36×1万円 国外25,000円
5	事業収入	130,000	121,250	△ 8,750	ちゃんな3号¥9,000、ちゃんな6号¥1,500、徽章¥97,750、定¥10,000、記念誌¥3,000
6	雑収入	50,000	104,855	54,855	協力事業、受取利息等
7	繰入金	700,000	1,897,677	1,197,677	工工四事業¥1,000,000、100周年公演会計¥700,000、琉楽¥147,903、合同¥19,774
合 計		5,167,846	5,490,628	322,782	

支出の部

※科目間の流用ができるものとする。

番号	勘定科目	予算額	決算額	増減(△)	摘 要
1	会議費	160,000	148,526	△ 11,474	相談役・理事会・幹事会・執行部会
2	事務諸費	150,000	107,287	△ 42,713	文具代・コピー代・消耗品代
3	事業費	1,500,000	1,540,898	40,898	総会関係¥643760、免許状・免許審査関係¥488904、琉楽奨励賞¥100000、合同¥200000監査、その他¥73504
4	分担金	100,000	100,000	0	野村流合同協議会へ
5	助成金	800,000	800,000	0	師範会・教師会・組研・舞研
6	通信費	350,000	343,725	△ 6,275	切手・ハガキ代・通話料等
7	慶弔費	100,000	159,550	59,550	祝儀、寄付、供花、功労賞花束代
8	渉外費	200,000	130,000	△ 70,000	子ども大会弁当代、新年号掲載広告代、他
9	手当	810,000	810,000	0	事務局手当
10	交通費	500,000	516,396	16,396	相談役・理事・幹事・役員等交通費
11	支部育成費	100,000	31,936	△ 68,064	県外・海外支部への資料送付代等
12	祭祀費	60,000	60,000	0	(那覇/波の上旭ヶ丘公園・コザ/八重島・名護/伊差川)顕彰碑清掃費
13	雑費	50,000	25,059	△ 24,941	振込手数料、消耗品等
14	調整基金	1,000	0	△ 1,000	
15	予備費	1,000	0	△ 1,000	
16	委託料	260,000	254,117	△ 5,883	レンタル倉庫代・HP管理代
17	繰出金	1,000	0	△ 1,000	
小 計		5,143,000	5,027,494	△ 115,506	
18	繰越金	24,846	463,134	438,288	次年度へ繰越
合 計		5,167,846	5,490,628	322,782	

調整基金

前年度繰越金	本年度繰入金	本年度繰出金	残 高	摘 要
2,535,762	0	0	2,539,970	預金利息¥4,208沖縄銀行／赤道支店

令和7年度 協力事業関係明細書

第60回 「こども舞踊大会」																															
2025年7月19日(土) 琉球新報ホール																															
収入																															
入場券代	84,600																														
琉球新報社より	30,000	協力金No.44 (2025/8/20振入)																													
合計	¥114,600																														
		<table border="1"> <tr> <td>那覇支部</td> <td>12,600</td> <td>読谷支部</td> <td>10,800</td> </tr> <tr> <td>浦添支部</td> <td>10,800</td> <td>具志川支部</td> <td>14,400</td> </tr> <tr> <td>宜野湾支部</td> <td>9,000</td> <td>石川支部</td> <td>5,400</td> </tr> <tr> <td>北谷支部</td> <td>3,600</td> <td>名護支部</td> <td>10,800</td> </tr> <tr> <td>コザ支部</td> <td>7,200</td> <td>本部支部</td> <td>1,800</td> </tr> <tr> <td>嘉手納支部</td> <td>1,800</td> <td>今帰仁支部</td> <td>1,800</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>収入合計</td> <td>¥84,600</td> </tr> </table>	那覇支部	12,600	読谷支部	10,800	浦添支部	10,800	具志川支部	14,400	宜野湾支部	9,000	石川支部	5,400	北谷支部	3,600	名護支部	10,800	コザ支部	7,200	本部支部	1,800	嘉手納支部	1,800	今帰仁支部	1,800			収入合計	¥84,600	
那覇支部	12,600	読谷支部	10,800																												
浦添支部	10,800	具志川支部	14,400																												
宜野湾支部	9,000	石川支部	5,400																												
北谷支部	3,600	名護支部	10,800																												
コザ支部	7,200	本部支部	1,800																												
嘉手納支部	1,800	今帰仁支部	1,800																												
		収入合計	¥84,600																												
支出																															
弁当代	23,000	7支部 46名@500(三線37名、胡弓3名、笛6名)																													
入場券代	90,000	琉球新報社へ支払																													
雑収入	1,600	一般会計へ No.43																													
合計	¥114,600																														
		<table border="1"> <tr> <td>那覇支部</td> <td>3,000</td> <td>読谷支部</td> <td>7,000</td> </tr> <tr> <td>浦添支部</td> <td>2,000</td> <td>名護支部</td> <td>3,500</td> </tr> <tr> <td>宜野湾支部</td> <td>2,000</td> <td>具志川支部</td> <td>3,500</td> </tr> <tr> <td>コザ支部</td> <td>2,000</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>¥23,000</td> </tr> </table>	那覇支部	3,000	読谷支部	7,000	浦添支部	2,000	名護支部	3,500	宜野湾支部	2,000	具志川支部	3,500	コザ支部	2,000						¥23,000									
那覇支部	3,000	読谷支部	7,000																												
浦添支部	2,000	名護支部	3,500																												
宜野湾支部	2,000	具志川支部	3,500																												
コザ支部	2,000																														
			¥23,000																												

第10回 おきなわ伝統芸能「若衆芸術祭」			
2025年12月21日(日)琉球新報ホール			
収入			
参加費	9,000	18名 × ¥500	
入場券代	111,000	32枚 × 2,000	
琉楽奨励賞会計より	49,000	補填No.32	
合計	¥169,000		
支出			
参加費・入場券代	129,000	新報社へ支払	
謝礼金	40,000	神谷みつ子琉舞研究所	
合計	¥169,000		

令和7年度 協力事業関係明細書

第26回新春を寿ぐ「歌い始め・舞い始め華舞台」																											
2026年1月14日(水) 沖縄県立武道館アリーナ棟																											
収入																											
入場券代	83,000																										
合計	¥83,000																										
		<table border="1"> <tr> <td>那覇支部</td> <td>8,000</td> <td>読谷支部</td> <td>5,000</td> </tr> <tr> <td>浦添支部</td> <td>6,000</td> <td>具志川支部</td> <td>10,000</td> </tr> <tr> <td>宜野湾支部</td> <td>3,000</td> <td>石川支部</td> <td>5,000</td> </tr> <tr> <td>北谷支部</td> <td>3,000</td> <td>名護支部</td> <td>15,000</td> </tr> <tr> <td>コザ支部</td> <td>24,000</td> <td>本部支部</td> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td>嘉手納支部</td> <td>1,000</td> <td>今帰仁支部</td> <td>2,000</td> </tr> </table>	那覇支部	8,000	読谷支部	5,000	浦添支部	6,000	具志川支部	10,000	宜野湾支部	3,000	石川支部	5,000	北谷支部	3,000	名護支部	15,000	コザ支部	24,000	本部支部	1,000	嘉手納支部	1,000	今帰仁支部	2,000	
那覇支部	8,000	読谷支部	5,000																								
浦添支部	6,000	具志川支部	10,000																								
宜野湾支部	3,000	石川支部	5,000																								
北谷支部	3,000	名護支部	15,000																								
コザ支部	24,000	本部支部	1,000																								
嘉手納支部	1,000	今帰仁支部	2,000																								
支出																											
入場券代金	¥80,000	琉球新報社へ支払																									
雑収入	3,000	一般会計へ No.62																									
合計	¥83,000																										

第5回「華の松竹梅」																											
2026年3月20日(金) 琉球新報ホール																											
収入																											
入場券代	125,000 (50枚@2,500)																										
合計	¥125,000																										
		<table border="1"> <tr> <td>那覇支部</td> <td>20,000</td> <td>読谷支部</td> <td>10,000</td> </tr> <tr> <td>浦添支部</td> <td>20,000</td> <td>具志川支部</td> <td>15,000</td> </tr> <tr> <td>宜野湾支部</td> <td>10,000</td> <td>石川支部</td> <td>10,000</td> </tr> <tr> <td>北谷支部</td> <td>10,000</td> <td>今帰仁支部</td> <td>2,500</td> </tr> <tr> <td>コザ支部</td> <td>15,000</td> <td>関西支部</td> <td>2,500</td> </tr> <tr> <td>嘉手納支部</td> <td>2,500</td> <td>追加3</td> <td>7,500</td> </tr> </table>	那覇支部	20,000	読谷支部	10,000	浦添支部	20,000	具志川支部	15,000	宜野湾支部	10,000	石川支部	10,000	北谷支部	10,000	今帰仁支部	2,500	コザ支部	15,000	関西支部	2,500	嘉手納支部	2,500	追加3	7,500	
那覇支部	20,000	読谷支部	10,000																								
浦添支部	20,000	具志川支部	15,000																								
宜野湾支部	10,000	石川支部	10,000																								
北谷支部	10,000	今帰仁支部	2,500																								
コザ支部	15,000	関西支部	2,500																								
嘉手納支部	2,500	追加3	7,500																								
支出																											
入場券代	90,000	新報社へ支払																									
雑収入	35,000	一般会計へ No.76																									
合計	¥125,000																										

令和7年度 第19回 琉楽奨励賞収支決算書

収 入		677,300 円	
支 出		677,300 円	
差引残額		0 円	

自: 令和7年4月 1日

至: 令和8年3月31日

収入の部

(単位: 円)

番号	勘定科目	予算額	決算額	増減(△)	摘 要
1	繰入金	100,000	100,000	0	一般会計より
2	受験料	500,000	576,000	76,000	174名*3000 27名*2000
3	雑収入	1,000	1,300	300	弁当代
合 計		601,000	677,300	76,300	

支出の部

※科目間の流用ができるものとする。

番号	勘定科目	予算額	決算額	増減(△)	摘 要
1	会場費	260,000	178,950	△ 81,050	うるま市 ゆらてく施設使用料
2	事務費	25,000	16,952	△ 8,048	用紙、封筒、コピー代
3	会議費	5,000	5,000	0	打合せ飲食費
4	印刷費	40,000	14,320	△ 25,680	用紙、インク代(プログラム用)
5	通信費	6,000	13,614	7,614	切手代等(通知や賞状送付)
6	報償費	120,000	126,000	6,000	舞踊研究所、裏方等への謝礼
7	表彰費	50,000	30,600	△ 19,400	会長賞へ工工四贈呈
8	交通費	36,000	36,000	0	審査員 12名
9	雑費	58,000	58,961	961	弁当&お茶、お菓子等
10	繰出金	1,000	196,903	195,903	若衆芸術祭へ<協力事業> ¥49000、 一般会計へ ¥147903
合 計		601,000	677,300	76,300	

令和7年度 第39回 組研・舞研合同発表会収支決算書

収 入 1,170,000 円

支 出 1,170,000 円

差引残高 0 円

自: 令和7年4月1日

至: 令和8年3月31日

収入の部

(単位:円)

番号	勘定科目	予算額	決算額	増減(△)	摘 要
1	繰 入 金	200,000	200,000	0	一般会計より繰入
2	入 場 券	1,000,000	955,000	△ 45,000	組研、舞研580枚、支部370枚、他50枚 @ ¥1000
3	雑 収 入	1,000	15,000	14,000	祝儀(柳清本流、幸太鼓の会)
合 計		1,201,000	1,170,000	△ 31,000	

支出の部

※科目間の流用ができるものとする。

番号	勘定科目	予算額	決算額	増減(△)	摘 要
1	会 場 費	250,000	255,000	5,000	読谷鳳ホール、リハーサル室等使用料
2	事 務 費	30,000	10,000	△ 20,000	
3	会 議 費	10,000	10,000	0	
4	印 刷 費	70,000	50,881	△ 19,119	入場券、プログラム
5	音響照明費	250,000	83,600	△ 166,400	
6	通 信 費	5,000	5,000	0	切手、ハガキ代、FAX、電話料等
7	報 償 費	450,000	622,000	172,000	立ち方、裏方等への謝礼
8	交 通 費	9,000	25,000	16,000	指導者交通費
9	雑 費	126,000	88,745	△ 37,255	弁当代、飲料水、その他
10	繰 出 金	1,000	19,774	18,774	一般会計へ
合 計		1,201,000	1,170,000	△ 31,000	

令和7年度 創立100周年記念事業収支決算書

収 入 2,222,459 円

支 出 1,498,682 円

繰越金 723,777 円

自: 令和7年 4月 1日

至: 令和8年 3月31日

収入の部

(単位: 円)

番号	勘定科目	予算額	決算額	増減(△)	摘 要
1	繰越金	1,686,119	1,686,119	0	前年度より
2	入場券	0	0	0	
3	広告料	1,000	530,000	529,000	記念誌への特別広告
4	記念誌販売	3,500,000	0	△ 3,500,000	
5	寄付金	0	0	0	
6	雑収入	1,000	6,340	5,340	預金利息¥2,340、他¥4,000
合 計		5,188,119	2,222,459	△ 2,965,660	

支出の部

※科目間の流用ができるものとする。

番号	勘定科目	予算額	決算額	増減(△)	摘 要
1	会議費	10,000	19,860	9,860	記念誌委員会、公演委員会打合せ等
2	事業費	250,000	189,720	△ 60,280	伊差川世瑞胸像前演奏
3	会場費	0	3,700	3,700	施設借用代
4	音響照明費	0	0	0	
5	通信費	0	6,715	6,715	切手代、レターパック等
6	印刷費	4,347,200	0	△ 4,347,200	R8年6月発刊予定 <約¥1,100,000は本部負担>
7	謝 礼	20,000	20,000	0	奉納舞踊謝礼金
8	記念品代	0	0	0	
9	事務諸費	10,000	21,869	11,869	プリンターインク、用紙、コピー代等
10	食糧費	15,000	30,700	15,700	弁当、飲料水等
11	雑 費	10,000	6,118	△ 3,882	消耗品、振込手数料等
12	繰出金	500,000	1,200,000	700,000	一般会計へ¥700,000、かりゆし公演へ貸し
	小 計	5,162,200	1,498,682	△ 3,663,518	
13	繰越金	25,919	723,777	697,858	次年度へ
合 計		5,188,119	2,222,459	△ 2,965,660	

令和7年度 かりゆし公演 事業収支決算書

(令和8年 2月15日(日) 読谷村文化センター鳳ホール)

単位:円

支 出					収 入							
項 目	内 訳 等	単 価	数 量	金 額	項 目	内 訳 等	単 価	数 量	金 額			
補助 対象 経 費	①謝金	組踊立方他別紙	230,000円	1	230,000円	収 入	入場料	一般前売	1,000円	333	333,000円	
		舞台監督	10,000円	1	10,000円			当日券	1,000円	18	18,000円	
		湯茶	3,000円	2	6,000円			その他	祝儀	5,000円	1	5,000円
		受付	3,000円	2	6,000円							
		お手伝い	3,000円	3	9,000円			0円				
		お手伝い	6,000円	2	12,000円			0円				
		②賃借料	施設使用料(読谷村文化ホール)	130,600円	1		130,600円		0円			
			施設使用料(沖縄市老人福祉センター)	18,000円	2		36,000円		0円			
			施設使用料(国立劇場おきなわ)	11,850円	1		11,850円		0円			
			衣装・小道具賃借料	18,000円	1		18,000円		0円			
			付属設備使用料	60,800円	1		60,800円		0円			
			横断幕	13,200円	1		13,200円		0円			
		③印刷製本費	チラシ	1,537円	1		1,537円		0円			
			チケット	7,747円	1		7,747円		0円			
			プログラムコピー代	5,000円	1		5,000円		0円			
			アンケートコピー代	2,000円	1		2,000円		0円			
		④通信運搬費	切手代	2,500円	1		2,500円		0円			
		⑤消耗品費	プログラム用紙	12,383円	1		12,383円		0円			
			衣装・小道具購入	12,064円	1		12,064円		0円			
		⑦食糧費	お弁当(リハーサル)	10,000円	1		10,000円		0円			
			お弁当(本番)	48,000円	1		48,000円		0円			
		⑨撮影費	DVD&集合写真	49,000円	1		49,000円		0円			
		⑩マネジメント料	企画制作費	200,000円	1		200,000円		0円			
		⑪委託費	照明チーフオペレーター	41,800円	1		41,800円		0円			
			チラシ・パンフレットデザイン料	100,000円	1		100,000円		0円			
	補助対象経費			1,035,481円					0円			
補助 対象 外 経 費	食糧費	お菓子・嗜好品	20,840円	1	20,840円				0円			
	消耗品	プリンター(故障の為)	33,500円	1	33,500円				0円			
		インク・用紙等	11,021円	1	11,021円				0円			
		クリップペンシル	2,992円	1	2,992円				0円			
	その他	事務局手当 別紙	25,000円	1	25,000円				0円			
		打合せ飲食費	4,260円	1	4,260円				0円			
		紙コップ・事務用品	6,034円	1	6,034円				0円			
		振込手数料等	1,305円	1	1,305円				0円			
			コピー代	420円	1	420円				0円		
		補助対象外経費			105,372円					0円		
					収入計				356,000円			
					補助上限額	子ども×伝統芸能公演 組踊		650,000円				
					伝統芸能公演補助希望額 ※補助希望額が補助上限額を超過する場合は補助上限額での申請となります				679,481円			
					自己負担金(※補助対象外経費含む)				134,853円			
支出総額				1,140,853円	収入+補助希望額(超過する場合は上限額)+自己負担金				1,140,853円			

令和7年度 工工四販売事業収支決算書

収 入 1,645,906 円

支 出 1,574,543 円

繰越金 71,363 円

自: 令和7年4月 1日

至: 令和8年3月 31日

(単位: 円)

収入の部

番号	勘定科目	予算額	決算額	増減(△)	摘 要
1	販売益(上巻)	150冊×2000	249,400	△ 50,600	59冊×2000円 118,000
		300,000			73冊×1800円 131,400
2	販売益(中巻)	100冊×2000	151,400	△ 48,600	1冊×2500円 0
		200,000			28冊×2000円 56,000
3	販売益(下巻)	250冊×2000	140,000	△ 360,000	87冊×1800円 95,400
		500,000			1冊×2500円 0
4	販売益(続巻)	50冊×1200	38,000	△ 22,000	43冊×2000円 86,000
		60,000			30冊×1800円 54,000
5	販売益(初級)	200冊×1500	334,500	34,500	15冊×1200円 18,000
		300,000			20冊×1000円 20,000
6	販売益(舞踊Ⅰ)	100冊×2000	170,000	△ 30,000	贈呈1冊
		200,000			93冊×1500円 139,500
7	販売益(舞踊Ⅱ)	100冊×2000	199,800	△ 200	150冊×1300円 195,000
		200,000			49冊×2000円 98,000
8	販売益(特集)	30冊×2000	16,000	△ 44,000	40冊×1800円 72,000
		60,000			0
9	販売益(組踊・朝薫5番)	20冊×5000	5,000	△ 95,000	1冊×2000円 2,000
		100,000			冊×4500円 0
10	販売益(楽典てびき)	50冊×1500	61,000	△ 14,000	26冊×1500円 39,000
		75,000			20冊×1100円 22,000
11	販売益(琉歌散策)	50冊×2000	26,000	△ 74,000	13冊×2000円 26,000
		100,000			諸見川和男師より寄贈
12	販売益(琉歌散策特集)	30冊×1200	3,600	△ 32,400	3冊×1200円 3,600
		36,000			諸見川和男師より寄贈
小 計		2,131,000	1,394,700	△ 736,300	
雑収入		1,000	878	△ 122	預金利息等
繰 入 金		1,000	250,328	249,328	前年度より
合 計		2,133,000	1,645,906	△ 487,094	

支出の部

番号	勘定科目	予算額	決算額	増減(△)	摘 要
1	印 刷 費	1,500,000	510,510	△ 989,490	舞踊Ⅰ420冊
2	配 達 費	20,000	61,344	41,344	送料¥25,790、配達費¥13,454、手当¥20,000
3	保 管 料	20,000	0	△ 20,000	近代美術印刷
4	雑 費	5,000	2,689	△ 2,311	振込手数料、事務用品等
5	繰 出 金	200,000	1,000,000	800,000	一般会計へ
小 計		1,745,000	1,574,543	△ 170,457	
6	繰 越 金	388,000	71,363	△ 316,637	次年度へ繰越
合 計		2,133,000	1,645,906	△ 487,094	

令和7年度 財産目録

科目	金額(円)	摘要	備考
普通預金	346,397	沖銀銀行 赤道支店	一般会計(合計¥463,134)
現金	116,737		
普通預金	2,539,970	沖縄銀行 赤道支店	調整基金
普通預金	723,777	琉球銀行 石川支店	100周年事業専用
普通預金	71,363	沖縄銀行 安慶名支店	工工四専用
合計	3,798,244		

科目	金額(円)	摘要	備考	3月末現在	
				近美在庫	手持在庫
工工四 (上巻)	488,000	244 冊×2000円	令和6年度残高 令和7年度売上 376 冊 132 冊 冊	230	14
工工四 (中巻)	674,000	337 冊×2000円	令和6年度残高 令和7年度売上 452 冊 115 冊 冊	320	17
工工四 (下巻)	564,000	282 冊×2000円	令和6年度残高 令和7年度売上 355 冊 73 冊 冊	240	42
工工四 (初級)	87,000	58 冊×1500円	令和6年度残高 令和7年度売上 301 冊 243 冊 冊	0	58
工工四 (続巻)	823,200	686 冊×1200円	令和6年度残高 令和7年度売上 722 冊 35 冊 1 冊贈呈	640	46
工工四 (舞Ⅰ)	662,000	331 冊×2000円	令和6年度残高 令和7年度売上 421 冊 89 冊 1 冊贈呈	300	32
工工四 (舞Ⅱ)	1,484,000	742 冊×2000円	令和6年度残高 令和7年度売上 848 冊 106 冊 冊	720	22
工工四 (特集)	216,000	108 冊×2000円	令和6年度残高 令和7年度売上 116 冊 8 冊 冊	100	8
工工四 (組踊・朝薫5番)	2,005,000	401 冊×5000円	令和6年度残高 令和7年度売上 402 冊 1 冊 冊	390	11
琉歌散策	395,000	79 冊×2000円	令和6年度残高 令和7年度売上 94 冊 13 冊	協会倉庫 60	19 諸見川和男氏より寄贈
琉歌散策特集	890,000	178 冊×1200円	令和6年度残高 令和7年度売上 181 冊 3 冊	協会倉庫 140	38 諸見川和男氏より寄贈
楽典のてびき	187,500	125 冊×1,500円	令和6年度残高 令和7年度売上 171 冊 46 冊	協会倉庫 100	25
徽章 (男性用・女性用)	69,000	138 枚×500円	令和6年度残高 令和7年度売上 366 枚 228 枚 枚	女性用 男性用	138 0
会誌ちゃんな3号	62,000	62 冊×1,000円	令和6年度残高 令和7年度売上 80 冊 18 冊		
会誌ちゃんな6号	133,500	89 冊×1,500円	令和6年度残高 令和7年度売上 90 冊 1 冊		
「定」	90,500	181 枚×500円	令和6年度残高 令和7年度売上 201 枚 20 枚		
合計	8,830,700				

事業並びに会務、会計監査報告書

令和8年4月11日(土)沖縄市農民センターに於いて、琉球古典音楽野村流音楽協会 会則第8条第4項に基づき会長はじめ事務局員の説明のもと、令和7年度事業並びに会務、一般会計(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)、第39回組研・舞研、第19回琉楽奨励賞、工工四販売事業、100周年記念事業等の収支の会計監査を実施いたしました。

- (1) 令和7年度の事業並びに会務について、適正に執行されていることを確認しました。
- (2) 令和7年度会計について、会計簿の処理及び証憑書類の整理が適正に処理されていることを確認しました。
- (3) 一般会計次年度への繰越金 463,134 円は、現金 116,737 円と沖縄銀行/赤道支店へ 346,397 円が適正に管理されていることを確認しました。
- (4) 調整基金 2,539,970 円は、沖縄銀行/赤道支店へ適正に管理されていることを確認しました。
- (5) 工工四事業次年度への繰越金 71,363 円は、沖縄銀行/安慶名支店へ適正に管理されていることを確認しました。
- (6) 創立 100 周年事業次年度への繰越金 723,777 円は、琉球銀行/石川支店へ適正に管理されていることを確認しました。

以上、ご報告いたします。

令和8年4月11日(土)

琉球古典音楽野村流音楽協会

監事 久場良昌

監事 兼島兼良

監事 新垣和則

令和8年度事業並びに会務計画（案）

自 令和8年4月 1日
至 令和9年3月31日

年間を通して、基本的に定例で開催されるもの

- 執行部会（毎月第1土曜日）
- 幹事会（偶数月の第2土曜日）
- 教師研修会（3ヶ月に1回で第2日曜日）4月・7月・10月・1月
- 師範会（3ヶ月に1回で第4土曜日）5月・8月・11月・2月
- 組踊地謡研修会（毎月第1日曜日）
- 舞踊地謡研修会（毎月第3日曜日）

月	日	曜日	時間	事 項
4	4	土	10:00	執行部会 場所：沖縄市農民研修センター
	5	日	09:00	組踊地謡研修会（以下、組研とする）
	11	土	09:30	会計監査 場所：農民研修センター
	13	日	13:00	教師研修会 場所：農民研修センター
	18	土	10:00	第1回幹事会 場所：農民研修センター
	19	日	14:00	舞踊地謡研修会（以下、（舞研とする）
	25	土	13:00	組踊舞踊地謡研修部合同修了式 場所：読谷村文化センター 理事・相談役会 場所：沖縄市かりゆし園
5	2	土	10:00	執行部会 場所：農民研修センター 1階和室
	3	日	10:00	組研
	17	日	13:00	第102回定期総会 場所：うるま市石川健康相談センター
	23	土	13:00	師範会 場所：かりゆし園
	24	日	10:00	舞研
6	6	土	10:00	執行部会
	7	日	10:00	組研
	13	土	10:00	第2回幹事会
	21	日	10:00	舞研
7	4	土	10:00	執行部会
	5	日	13:00	野村流合同演奏会 場所：読谷村鳳ホール
	5	日	13:00	組研
	12	日	13:00	教師研修会
	18	土	10:00	「協力事業」第61回こども舞踊大会 場所：琉球新報ホール
	18	土	10:00	琉楽奨励賞 銅賞・銀賞 場所：うるま市ゆらてく
	19	日	10:00	琉楽奨励賞 金賞・会長賞・若衆芸術祭選考会 場所：うるま市ゆらてく
	19	日	13:30	舞研
8	1	土	10:00	執行部会
	2	日	10:00	組研
	8	土	10:00	第3回幹事会
	16	日	13:30	舞研
	22	土	13:00	師範会
	23	日	10:00	第20回琉楽奨励賞表彰式・激励公演リハ・本番 場所：読谷村鳳ホール

9	5	土	10:00	執行部会
	6	日	10:00	組研
	12	土	15:00	第40回組研・舞研合同発表会リハ 場所：読谷村鳳ホール
	13	日	14:00	第40回組研・舞研合同発表会本番 場所：読谷村鳳ホール
	20	日	13:30	舞研
10	3	土	10:00	執行部会
	4	日	10:00	組研
	10	日	13:00	教師研修会
	18	日	13:30	舞研
11	1	日	10:00	組研
	7	土	10:00	執行部会
	15	日	13:30	舞研
	28	土	10:00	師範会
12	5	土	10:00	執行部会
	6	日	10:00	組研
	12	土	10:00	第5回幹事会
	20	日	13:30	舞研
	20	日	10:00	「協力事業」若衆芸術祭予定 場所：琉球新報ホール
1	2	土	10:00	執行部会
	3	日	10:00	組研
	4	月	10:00	年始あいさつ廻り 県教育庁文化財課・県文化観光部文化振興課・マスコミ各社
	10	日	13:00	教師研修会
	16	土	10:00	教師・師範免許審査申込み締め切り
	17	日	13:30	舞研
	23	土	10:00	相談役・理事会
	2	6	土	10:00
2	7	日	10:00	組研
	13	土	10:00	第6回幹事会
	13	日	13:00	令和8年度 教師・師範免許書類審査
	21	日	13:30	舞研
	27	土	13:00	師範会
	3	6	土	10:00
○		○	00:00	第44回組踊地謡研修部自主公演「えにし」リハーサル
○		○	00:00	第44回組踊地謡研修部自主公演「えにし」本番
20		土	10:00	令和8年度 教師・師範免許実技審査 場所：未定
21		日	10:00	令和8年度 教師・師範免許実技審査 場所：未定
○		○	00:00	第27回舞踊地謡研修部自主公演「となか」リハーサル
○		○	00:00	第27回舞踊地謡研修部自主公演「となか」本番

令和8年度 一般会計予算(案)

収 入	4,944,134 円
支 出	4,944,134 円
差引残高	0 円

自: 令和 8年 4月 1日

至: 令和 9年 3月31日

(単位:円)

収入の部

番号	勘定科目	前年度予算額	本年度予算額	増減(△)	摘 要
1	繰 越 金	186,846	463,134	276,288	前年度より繰り越し
2	会 費	2,300,000	2,200,000	△ 100,000	995×2000円、100×1000円、100名×500円、 国外等
3	寄 付 金	1,000	1,000	0	
4	免 許 料	1,800,000	1,100,000	△ 700,000	交付料師範13名×30000円、教師15名×20000円、 受験料40名×10000円、国外10000
5	事 業 収 入	130,000	130,000	0	楽典のてびき、徽章、定等
6	雑 収 入	50,000	50,000	0	決算利息、予算外事業等
7	繰 入 金	700,000	1,000,000	300,000	工工四事業より
	合 計	5,167,846	4,944,134	△ 223,712	

支出の部

※科目間の流用ができるものとする。

番号	勘定科目	前年度予算額	本年度予算額	増減(△)	摘 要
1	会 議 費	160,000	150,000	△ 10,000	相談役・理事会・幹事会・執行部会
2	事 務 諸 費	150,000	100,000	△ 50,000	文具代・コピー代・消耗品代等
3	事 業 費	1,500,000	1,300,000	△ 200,000	監査・総会費・免許審査諸費・琉楽奨励へ ¥100,000、合同公演へ¥200,000その他
4	分 担 金	100,000	100,000	0	野村流合同協議会へ
5	助 成 金	800,000	600,000	△ 200,000	師範会10万・教師会10万・組研20万・舞研20 万
6	通 信 費	350,000	350,000	0	切手ハガキ代・通話料等
7	慶 弔 費	100,000	100,000	0	祝儀、寄付、供花、功労賞花束等
8	渉 外 費	200,000	150,000	△ 50,000	子ども舞踊地謡弁当代・広告料等
9	手 当	810,000	810,000	0	事務局手当
10	交 通 費	500,000	500,000	0	相談役・理事幹事・役員等交通費
11	支 部 育 成 費	100,000	50,000	△ 50,000	県外・海外支部への資料提供・役員交通費等
12	祭 祀 費	60,000	80,000	20,000	(那覇波之上、コザ池宮、名護伊差川、具志川世禮) 碑清掃費
13	雑 費	50,000	40,000	△ 10,000	振込手数料、消耗品等
14	調 整 基 金	1,000	1,000	0	
15	予 備 費	1,000	1,000	0	
16	委 託 料	260,000	260,000	0	ホームページ管理、レンタル倉庫
17	繰 出 金	1,000	1,000	0	
	小 計	5,143,000	4,593,000		
18	繰 越 金	24,846	351,134	326,288	次年度へ
	合 計	5,167,846	4,944,134	△ 223,712	

調整基金

前年度繰越金	本年度繰入金	本年度繰出金	残 高	摘 要
2,539,970	0	0	2,539,970	沖縄銀行／赤道支店

令和8年度 第20回 琉楽奨励賞予算(案)

収 入	601,000 円
支 出	601,000 円
差引残額	0 円

自:令和8年4月 1日

至:令和9年3月31日

収入の部

(単位:円)

番号	勘定科目	前年度予算額	本年度予算額	増減(△)	摘 要
1	繰 入 金	100,000	100,000	0	一般会計より繰入
2	受 験 料	500,000	500,000	0	150*3000 25*2000
3	雑 収 入	1,000	1,000	0	
合 計		601,000	601,000	0	

支出の部

※科目間の流用ができるものとする。

番号	勘定科目	前年度予算額	本年度予算額	増減(△)	摘 要
1	会 場 費	260,000	260,000	0	ホール使用料
2	事 務 費	25,000	25,000	0	用紙、封筒、コピー代
3	会 議 費	5,000	5,000	0	打合せ飲食費
4	印 刷 費	40,000	40,000	0	用紙・インク(パンフレット用)
5	通 信 費	6,000	6,000	0	切手代等<通知や賞状送付>
6	報 償 費	120,000	120,000	0	裏方等への謝礼
7	表 彰 費	50,000	50,000	0	会長賞へ工工四贈呈
8	交 通 費	36,000	36,000	0	審査員 12名×3千円
9	雑 費	58,000	58,000	0	弁当&お茶、お菓子等
10	繰 出 金	1,000	1,000	0	一般会計へ
合 計		601,000	601,000	0	

令和8年度 第40回 組研・舞研合同発表会予算(案)

収 入 1,201,000 円

支 出 1,201,000 円

差引残高 0 円

自: 令和8年4月1日

至: 令和9年3月31日

収入の部

(単位:円)

番号	勘定科目	前年度予算額	今年度予算額	増減(△)	摘 要
1	繰 入 金	200,000	200,000	0	一般会計より繰入
2	入 場 券	1,000,000	1,000,000	0	組研、舞研500枚、支部450枚、他50枚 @ ¥1000
3	雑 収 入	1,000	1,000	0	
合 計		1,201,000	1,201,000	0	

支出の部

※科目間の流用ができるものとする。

番号	勘定科目	前年度予算額	今年度予算額	増減(△)	摘 要
1	会 場 費	250,000	250,000	0	施設使用料
2	事 務 費	30,000	20,000	△ 10,000	
3	会 議 費	10,000	10,000	0	
4	印 刷 費	70,000	65,000	△ 5,000	入場券、プログラム
5	音響照明費	250,000	150,000	△ 100,000	
6	通 信 費	5,000	5,000	0	切手、ハガキ代、FAX、電話料等
7	報 償 費	450,000	600,000	150,000	立ち方、裏方等への謝礼
8	交 通 費	9,000	9,000	0	指導者交通費
9	雑 費	126,000	91,000	△ 35,000	弁当代、飲み物代、その他
10	繰 出 金	1,000	1,000	0	一般会計へ
合 計		1,201,000	1,201,000	0	

令和8年度 創立100周年記念事業 予算(案)

収 入 4,878,777 円

支 出 4,878,777 円

差引残高 0 円

自:令和8年 4月 1日

至:令和9年 3月31日

収入の部

(単位:円)

番号	勘定科目	前年度予算額	今年度予算額	増減(△)	摘 要
1	繰越金	1,686,119	723,777	△ 962,342	前年度より<100周年事業特別預金通帳>
2	入場券	0	0	0	
3	広告料	1,000	0	△ 1,000	
4	記念誌販売	3,500,000	3,500,000		700冊 @¥5,000
5	寄付金	0	0	0	
6	雑収入	1,000	655,000	654,000	かりゆし公演事業より戻し金、預金利息等
合 計		5,188,119	4,878,777	△ 309,342	

支出の部

※科目間の流用ができるものとする。

番号	勘定科目	前年度予算額	今年度予算額	増減(△)	摘 要
1	会議費	10,000	10,000	0	打合せ等
2	事業費	250,000	50,000	△ 200,000	記念誌委員会
3	会場費	0	0	0	
4	音響照明費	0	0	0	
5	通信費	0	0	0	
6	印刷費	4,347,200	4,347,200	0	700冊記念誌印刷費
7	謝 礼	20,000	0	△ 20,000	
8	記念品代	0	0	0	
9	事務諸費	10,000	10,000	0	プリンターインク、用紙
10	食糧費	15,000	0	△ 15,000	
11	雑 費	10,000	10,000	0	消耗品、振込手数料等
12	繰出金	500,000	0	△ 500,000	
	小 計	5,162,200	4,427,200	△ 735,000	
13	予備費	25,919	451,577	425,658	
合 計		5,188,119	4,878,777	△ 309,342	

令和8年度 工工四販売事業予算(案)

収 入 1,696,363 円

支 出 1,696,363 円

差引残高 0 円

自: 令和8年4月 1日

至: 令和9年3月 31日

(単位: 円)

収入の部

番号	勘定科目	前年度予算額	本年度予算額	増減(△)	摘 要
1	販売益(上巻)	150冊×2000 300,000	300,000	0	150冊×2000円 300,000
2	販売益(中巻)	100冊×2000円 200,000	200,000	0	100冊×2000円 200,000
3	販売益(下巻)	250冊×2000円 500,000	200,000	△ 300,000	100冊×2000円 200,000
4	販売益(続巻)	50冊×1200円 60,000	50,000	△ 10,000	50冊×1200円 60,000
5	販売益(初級)	200冊×1500円 300,000	300,000	0	250冊×1500円 375,000
6	販売益(舞踊Ⅰ)	100冊×2000円 200,000	200,000	0	100冊×2000円 200,000
7	販売益(舞踊Ⅱ)	100冊×2000円 200,000	200,000	0	100冊×2000円 200,000
8	販売益(特集)	30冊×2000円 60,000	20,000	△ 40,000	30冊×2000円 60,000
9	販売益(組踊・朝薫5番)	20冊×5000円 100,000	30,000	△ 70,000	10冊×5000円 50,000
10	販売益(楽典てびき)	50冊×1500円 75,000	70,000	△ 5,000	50冊×1500円 75,000
11	販売益(琉歌散策)	50冊×2000円 100,000	30,000	△ 70,000	50冊×2000円 100,000
12	販売益(琉歌散策特集)	30冊×1200円 36,000	24,000	△ 12,000	30冊×1200円 36,000
	小 計	2,131,000	1,624,000	△ 507,000	
	雑収入	1,000	1,000	0	預金利息等
	繰越金	1,000	71,363	70,363	前年度より
	合 計	2,133,000	1,696,363	△ 436,637	

支出の部

番号	勘定科目	前年度予算額	本年度予算額	増減(△)	摘 要
1	印 刷 費	1,500,000	500,000	△ 1,000,000	初級100冊、スキャン等
2	配 達 費	20,000	60,000	40,000	配達に係る費用
3	保 管 料	20,000	20,000	0	近代美術印刷
4	雑 費	5,000	5,000	0	振込手数料、事務用品等
5	繰 出 金	200,000	1,000,000	800,000	一般会計へ
	小 計	1,745,000	1,585,000	△ 160,000	
	繰越金	388,000	111,363	△ 276,637	次年度へ
	合 計	2,133,000	1,696,363	△ 436,637	

琉球古典音楽野村流音楽協会々則の一部改正について（案）

第 1 章 総 則

<現行>	<追記案>
<p>(組織)</p> <p>第 4 条 本会は前条の趣旨に賛同する者で組織する。</p> <p>2 本会は各地域及び海外に支部を置くことができる。</p> <p>3 本会に入会しようとする者は本会の支部に入会し、支部長を経て会費を納入しなければならない。</p>	<p>(組織)</p> <p>第 4 条 本会は前条の趣旨に賛同する者で組織する。</p> <p>2 本会は各地域及び海外に支部を置くことができる。</p> <p>3 本会に入会しようとする者は本会の支部に入会し、支部長を経て会費を納入しなければならない。</p> <p>4 <u>本会の会員は琉球古典音楽野村流の他の団体へ所属してはならない。</u></p>

第 6 章 会員の権利義務

<現行>	<削除案>
<p>(権利義務)</p> <p>第 18 条 本会の会員は第 3 条の目的に添って努力しなければならない。</p> <p>2 <u>第 20 条第 2 項により会員としての権利は一切制限されない。</u></p> <p>3 本会の会則に違反し、本会の名誉を毀損した者は理事会の決議により除名することができる。</p> <p>4 本会を脱退し又は除名された者は、本会に係わるすべての権利を失う。</p>	<p>(権利義務)</p> <p>第 18 条 本会の会員は第 3 条の目的に添って努力しなければならない。</p> <p>2 本会の会則に違反し、本会の名誉を毀損した者は理事会の決議により除名することができる。</p> <p>3 本会を脱退し又は除名された者は、本会に係わるすべての権利を失う。</p>

附則

- (14) 本会則は、令和 8 年 5 月 17 日に一部改正し、令和 8 年 4 月 1 日より施行する。

「琉球古典音楽野村流音楽協会・師範会」並びに

「琉球古典音楽野村流音楽協会・教師会」規程の一部改正について（案）

<現 行>	<改正案>
<p>(名称) 第1条「琉球古典音楽野村流音楽協会・師範会」並びに「琉球古典音楽野村流音楽協会・教師研修会」と称する。</p> <p>(組織及び運営) 第3条 師範会、教師研修会の組織及び運営について次のとおりとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 師範会、教師研修会に次の役員をおく。 (1) 幹事、若干名 2 教師研修会の役員は、各支部輪番制とし、任期は1年とする。ただし、再任は妨げない。 3 第1項及び第2項の役員は、幹事会を構成し研修会の運営に当たる。 4 研修に必要な指導助言者若干名を委嘱する。 	<p>(名称) 第1条 <u>琉球古典音楽 野村流音楽協会 師範会並びに教師研修会と称する。</u></p> <p>(組織及び運営) 第3条 師範会、教師研修会の組織及び運営について次のとおりとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 <u>師範会、教師研修会の役員として幹事 若干名を置く。</u> 2 <u>師範会、教師研修会の役員は、各支部 輪番制とし、任期は1年とする。た だし、再任は妨げない。</u> 3 <u>第1項及び第2項の役員は、師範会、 教師研修会の運営に当たる。</u> 4 研修に必要な指導助言者若干名を委嘱する。

附則

(4) この規程は、令和8年5月17日より施行する。

免許審査規程の一部改正について（案）

＜現 行＞	＜改正案・追記案＞
<p>(受験資格)</p> <p>第5条</p> <p>2 師範免許</p> <p>本会の教師免許を得てから6年（免許状交付時年度を含む）以上の会員で、師範並びに支部長が推薦する本会の教師であること。</p> <p>(審査免許の方法)</p> <p>第6条</p> <p>3 笛、胡弓部門の課題曲は、教師は、作田節、師範は茶屋節とし、各々1名で演奏し審査を受ける。なお、いずれも歌・三線の伴奏は、実演又は録音テープのうちから選択することができる。ただし、実演の場合は2名以内とする。</p> <p>4 受験番号の抽選は、実技審査約2週間前とする。</p> <p>6 国外支部会員は、前第1項、第2項に準じ国外支部審査委員会において、審査を受けることができる。 その際、実技審査に関して審査委員会は演奏をカセットテープに録音(伴奏なし)し、申請書、教師、師範並びに支部長の推薦書と録音テープを添えて会長に免許状交付の申請をする。実技免除者についても、同様(ただし録音テープは不要)とし、会長は免許審査規程に基づき免許状を交付する。</p> <p>(免許状交付)</p> <p>第11条 免許状は総会において交付する。</p>	<p>(受験資格)</p> <p>第5条</p> <p>2 師範免許</p> <p>本会の教師免許を得てから6年（<u>免許合格年度を含む</u>）以上の会員で、師範並びに支部長が推薦する本会の教師であること。</p> <p>(審査免許の方法)</p> <p>第6条</p> <p>3 笛、胡弓部門の課題曲は、教師は作田節、師範は茶屋節とし、各々1名で演奏し審査を受ける。なお、いずれも歌・三線の伴奏は、<u>実演又は運営委員会で決定した歌三線のみ</u>の音源を使用する。ただし、実演の場合は2名以内とする。</p> <p>4 受験番号の抽選は、<u>実技審査約2週間前事務局</u>で抽選する。</p> <p>6 国外支部会員は、前第1項、第2項に準じ国外支部審査委員会において、<u>審査</u>を受けることができる。</p> <p>(1) 教師、師範の受験者は、支部長の推薦を得て会長宛に免許状の申請をする。</p> <p>(2) 実技審査に関し審査委員会は、演奏の音源を録音し（伴奏なし）、本部へ録音データを送付する。また、実技免除者については、同様とし、会長は免許審査規程に基づき免許状を付与する。</p> <p>(免許状付与)</p> <p>第11条 免許状は総会において<u>付与</u>する。</p>

附則

(15) この規程は、令和8年5月17日に一部改正し、当日施行する。

琉球古典音楽野村流音楽協会 組踊及び舞踊地謡研修部規程

の一部改正について（案）

＜現行＞	＜改正案＞
<p>4. 部員の資格条件</p> <p>部員の資格条件は次の通りとする。</p> <p>(1) 入部資格は教師以上の資格を有し、舞踊研修部員は満55歳、組踊研修部員は満60歳までの者とする。ただし、年齢の達する基準日は、申請書を提出する年の4月1日とする。</p> <p>(2) 音声良好にして歌唱力を有し、地謡活動に積極的で、かつ、謙虚なるもの。</p> <p>(3) 支部長の推薦を経て本部幹事会で決める。</p> <p>(4) 在部年数は両部共5年とする。</p> <p>6. 伴奏者</p> <p>(1) 箏伴奏者については、所属団体長の推薦を経て、会長の承諾を得るものとする。</p> <p>(2) 箏伴奏者の在部年数を5年とし、入部年齢は原則として45歳までのものとする。ただし、年齢の達する基準日は、申請書を提出する年の4月1日とする。</p>	<p>4. 部員の資格条件</p> <p>部員の資格条件は次の通りとする。</p> <p>(1) 入部資格は教師以上、又は<u>芸コン優秀賞取得し、師匠の推薦の資格を有する者</u>とする。</p> <p>(2) 音声良好にして歌唱力を有し、地謡活動に積極的で、かつ、<u>研究熱心</u>なるもの。</p> <p>(3) 支部長の推薦を経て本部幹事会で決める。</p> <p>(4) 在部年数は両部共5年とする。 <u>再度入部希望者の場合は通算10年とする。</u></p> <p>6. 伴奏者</p> <p>(1) 箏伴奏者については、所属団体長の推薦を経て、会長の承諾を得るものとする。</p> <p>(2) <u>箏伴奏者の在部年数を5年とする。</u></p>

附則

- (6) この規程は、令和8年5月17日に一部改正し、当日施行する。

「師範会・教師研修会」参考資料

令和8年度～令和19年度担当支部（各支部輪番制）

年 度	教 師 会		師 範 会	
	幹事1	幹事2	幹事1	幹事2
令和8年度	浦 添 支 部	宜野湾支部現書記	石 川 支 部	石 川 支 部
令和9年度	宜 野 湾 支 部	宜野湾支部現書記	具 志 川 支 部	具 志 川 支 部
令和10年度	北 谷 支 部	北 谷 支 部	名 護 支 部	名 護 支 部
令和11年度	嘉 手 納 支 部	嘉 手 納 支 部	本 部 支 部	本 部 支 部
令和12年度	コ ザ 支 部	コ ザ 支 部	今 帰 仁 支 部	今 帰 仁 支 部
令和13年度	読 谷 支 部	読 谷 支 部	那 覇 支 部	那 覇 支 部
令和14年度	石 川 支 部	石 川 支 部	浦 添 支 部	浦 添 支 部
令和15年度	具 志 川 支 部	具 志 川 支 部	宜 野 湾 支 部	宜 野 湾 支 部
令和16年度	名 護 支 部	名 護 支 部	北 谷 支 部	北 谷 支 部
令和17年度	本 部 支 部	本 部 支 部	嘉 手 納 支 部	嘉 手 納 支 部
令和18年度	今 帰 仁 支 部	今 帰 仁 支 部	コ ザ 支 部	コ ザ 支 部
令和19年度	那 覇 支 部	那 覇 支 部	読 谷 支 部	読 谷 支 部

支 部 別 会 員 数

令和8年4月1日 現在

支部名	会員数合計	会員数内訳					
		一般	80歳以上		14歳～20歳未満	14歳未満	
		会費2000円	会費2000円	会費1000円	会費500円	会費免除	
1	那覇	76	67	6	2	1	0
2	浦添	71	64	3	0	2	2
3	宜野湾	60	32	11	7	4	6
4	北谷	36	29	0	6	1	0
5	コザ	243	200	20	9	12	2
6	嘉手納	7	5	1	1	0	0
7	読谷	57	41	3	1	11	1
8	具志川	108	87	8	1	12	0
9	石川	53	44	1	0	3	5
10	名護	153	102	16	13	9	13
11	本部	10	10	0	0	0	0
12	今帰仁	65	18	0	0	17	30
13	伊是名	9	9	0	0	0	0
14	伊平屋	8	8	0	0	0	0
県内	計	956	716	69	40	72	59
15	関東	151	134	4	6	1	6
16	関西	56	49	4	3	0	0
17	九州	14	12	1	1	0	0
県外	計	221	195	9	10	1	6
1	ハワイ	65	65	-	-	-	-
2	北米	6	6	-	-	-	-
3	ペルー	31	31	-	-	-	-
4	ブラジル	24	24	-	-	-	-
5	アルゼンチン	32	32	-	-	-	-
国外	計	158	158	0	0	0	0
合	計	1,335	1,069	78	50	73	65

※ 国外については、一分過年度のデータを掲載しています。会費/2米ドル。

本部役員及び事務局員

役 職	氏 名	支部名	郵便番号	住 所	電話番号
顧 問	普久原均	—			
相談役	大城朝徳	具志川			
〃	比嘉謙次	石川			
〃	照屋勝義	那覇			
〃	澤岷安松	コザ			
〃	上運天秀雄	具志川			
〃	新里光雄	具志川			
〃	神田米三	具志川			
〃	島袋英治	コザ			
〃	山田義夫	北谷			
〃	長浜眞勇	読谷			
〃	銘苺良光	浦添			
〃	比嘉康夫	名護			
〃	上間克美	浦添			
〃	宮城勝秀	宜野湾			
〃	山城正俊	具志川			
〃	金城光信	コザ			
会 長	糸数昌治	コザ			
副会長	銘苺盛隆	浦添			
副会長	島袋功	名護			
事務局長	古屋順子	石川			
書 記	仲田知広	コザ			
会 計	松島恵美	コザ			

理 事

支部名	氏 名	郵便番号	住 所	電話番号
那 覇	浜 川 智 昭			
浦 添	比 嘉 シ ゲ 子			
宜 野 湾	仲 村 智			
コ ザ	宇 栄 原 宗 真			
〃	島 袋 和 盛			
〃	島 袋 勝 英			
〃	小 嶺 克 仁			
北 谷	宮 里 賢 三			
嘉 手 納	崎 濱 秀 光			
読 谷	山 城 豊			
具 志 川	諸 見 里 朝 弘			
〃	仲 間 稔			
石 川	比 嘉 紀 子			
名 護	吉 元 和 男			
〃	仲 宗 根 朝 儀			
〃	比 嘉 三 男			
本 部	上 間 巽			
今 帰 仁	与 那 嶺 直 樹			
伊 是 名	東 江 清 和			
伊 平 屋	仲 田 文 治			
関 東	沼 崎 裕 二			
〃	下 地 健 士			
関 西	金 城 茂			
九 州	原 口 忠			

理 事

支部名	氏 名	住 所	電話番号
ハ ワ イ	金城ノーマン		
ペ ル ー	伊芸エクトル		
ブラジル	大城マリコ・ブルーナ		
アルゼンチン	與那嶺義勝		

監 事

支部名	氏 名	郵便番号	住 所	電話番号
コ ザ	久 場 良 昌			
具志川	兼 島 兼 良			
浦 添	新 垣 和 則			

支 部 役 員

那覇支部

支 部 長	浜 川 智 昭			
副 支 部 長	大 城 守 政			
事 務 局 長	渡 慶 次 亨			
書 記	長 堂 エ リ サ			
会 計	喜 納 や よ い			

浦添支部

支 部 長	比 嘉 シ ゲ 子			
副 支 部 長	伊 良 波 ゆ か り			
書 記	呉 屋 則 行			
会 計	米 良 実 紀 子			

宜野湾支部

支 部 長	仲 村 智			
副 支 部 長	比 嘉 剛			
副 支 部 長	飯 島 か ほ る			
書 記	高 田 万 里 子			
会 計	金 城 あ り さ			

北谷支部

支 部 長	宮 里 賢 三			
副 支 部 長	伊 計 秀 子			
書 記	新 垣 達 也			
会 計	辻 村 智 美			

コザ支部

支 部 長	小 嶺 克 仁			
副 支 部 長	仲 村 渠 達 也			
副 支 部 長	比 嘉 俊 一			
事 務 局 長	真 栄 城 健 二			
書 記	内 間 安 亨			
会 計	米 須 智 子			

具志川支部

支 部 長	諸見里朝弘			
副 支 部 長	上江洲治			
書記・会計	知念勝三			

嘉手納支部

支 部 長	崎濱秀光			
副 支 部 長	比嘉秀季			
書記・会計	松田悟			

読谷支部

支 部 長	山城豊			
副支部長兼 書 記	照屋早月			
会 計	上田徹也			

石川支部

支 部 長	比嘉紀子			
副 支 部 長	知念政智			
書記・会計	比屋根良直			

名護支部

支 部 長	仲宗根朝儀			
副 支 部 長	東江司			
事務局長	吉田岳人			
会 計	儀部恵子			

本部支部

支 部 長	上間巽			
副 支 部 長	与那嶺吉男			
書 記	大城拓也			
会 計	大城謙			

今帰仁支部

支 部 長	與那嶺直樹			
副 支 部 長	大城純子			
書記・会計	伊佐総子			

伊是名支部

支 部 長	東江清和			
書記・会計	佐久川兼友			

伊平屋支部

支 部 長	仲 田 文 治			
副 支 部 長	西 江 正 清			
書記・会計	諸 見 康 弘			

関東支部

支 部 長	沼 崎 裕 二			
副 支 部 長	下 地 健 士			
副 支 部 長	新 保 貴 子			
副 支 部 長	七 里 元 晴			
事務局長	篠 田 里 美			
書 記	久 手 堅 玲 奈			
書 記	宗 像 祥 子			
会 計	長谷川みさと			

関西支部

支 部 長	金 城 茂			
副 支 部 長	新 城 浩 文			
事務局長	上 原 和 華 子			
会 計	糸 数 美 華			
書 記	木 下 裕 之			
事務局長	藤 島 稔			

九州支部

支 部 長	原 口 忠			
副 支 部 長	田 中 悟			
書記・会計	山 口 紗 輝			

ハワイ支部

支 部 長	金城 ノーマン	2	
副 支 部 長	仲 兼 久 キース		
書 記	ドンナンミュリエル		
副 会 計	カーマイケルグレース		

米支部

書 記	タ ン ゴ・ト ニー		
会 計	呉 屋 ジェーン		

ペルー支部

支 部 長	伊 芸 エクトル		
副 支 部 長	安富祖アレハンドロ		
事務局長	照 屋 ヘラルド		
書 記	知 念 デ ウ ィ		
会 計	仲 田 ル イ ス		

ブラジル支部

支 部 長	大城マリコ・ブルーナ		
副 支 部 長	プロエンサ クリスチャン		
第一書記	金城アウレア		
第二書記	玉城バルデテ		
第一会計	大城マリレーナ		
第二会計	新垣ルシア		

アルゼンチン支部

支 部 長	與 那 嶺 義 勝		
第 一 副 支 部 長	新 垣 正 吉 (ARAKAKI SEIKICHI)		
第 二 副 支 部 長	稲嶺フェルナンド		
幹 事	宮 城 ダ ニ エ ル		
第一副幹事	名 護 デ ィ エ ゴ		
第二副幹事	栄口アレハンドロ		
会 計	前外間レイナルド		
第一副会計	奥 間 オ マ ー ル		
第二副会計	佐久田アンドレス		

各種委員会

◎工工四監修委員会

	氏名	郵便番号	住所	電話番号
委員	澤 岷 安 松			
〃	島 袋 英 治			
〃	長 浜 眞 勇			
〃	宮 城 勝 秀			
幹事	糸 数 昌 治			

◎工工四編集校正委員会（上巻・中巻・下巻・続巻・特集）

	氏名	郵便番号	住所	電話番号
委員	山 田 義 夫			
〃	銘 苺 良 光			
〃	松 田 盛			
〃	宮 城 勝 秀			
幹事	古 屋 順 子			

◎工工四編集校正委員会（舞踊）

	氏名	郵便番号	住所	電話番号
委員	銘 苺 良 光			
〃	山 田 義 夫			
〃	松 田 盛			
〃	宮 城 武 碩			
〃	宮 城 勝 秀			
〃	島 袋 功			
幹事	銘 苺 盛 隆			

◎工工四編集校正委員会（組踊）

	氏名	郵便番号	住所	電話番号
委員	照 屋 勝 義			
〃	島 袋 英 治			
〃	銘 苺 盛 隆			
〃	銘 苺 良 光			
〃	松 田 盛			
〃	上 間 克 美			
幹事	島 袋 功			

◎工工四編集校正委員会（初級）

	氏名	郵便番号	住所	電話番号
委員	宮城勝秀			
〃	銘荊盛隆			
〃	島袋功			
〃	宮城武碩			
〃	比嘉康夫			
〃	内間悦子			
幹事	仲田知広			

◎資料収集編集委員会

	氏名	郵便番号	住所	電話番号
委員	糸数昌治			
〃	銘荊盛隆			
〃	島袋功			
〃	古屋順子			
〃	仲田知広			
〃	松島恵美			

◎師範会指導者及び幹事

	氏名	郵便番号	住所	電話番号
指導者	山田義夫			
〃	比嘉康夫			
〃	上間克美			
〃	銘荊盛隆			
〃	徳原清文			
〃	吉元博昌			
〃	内間悦子			
〃	島袋功			
〃	宮城勝秀			
幹事	比屋根良直			
〃	古屋順子			

◎教師研修会指導者及び幹事

	氏名	郵便番号	住所	電話番号
指導者	宮城勝秀			
幹事	西平里枝子			
〃	宮里恵子			

◎組踊地謡研修部指導者及び役員

	氏名	郵便番号	住所	電話番号
指導者	島袋英治			
〃	上間克美			
〃	島袋功			
部長	井形繁雄			
副部長	呉屋光治			
書記	中野夢			
書記補佐	宮城秀基			
会計	山城綾子			
会計補佐	仲里ひろみ			

◎舞踊地謡研修部指導者及び役員

	氏名	郵便番号	住所	電話番号
指導者	銘苺盛隆			
〃	宮城武碩			
〃	崎濱秀光			
部長	徳田泰樹			
副部長	座間味大斗			
書記	畠中由美子			
会計	アバロス彩乃			
会計補佐	宮平真紀			

◎野村流合同協議会役員

役職	氏名	郵便番号	住所	電話番号
委員	糸数昌治			
〃	銘苺盛隆			
〃	島袋功			
〃	古屋順子			
〃	仲田知広			
〃	松島恵美			

琉球古典音楽野村流音楽協会々則

第1章 総則

(名称)

第1条 本会は琉球古典音楽野村流音楽協会と称する。

(事務所)

第2条 本会の事務所は会長所在地に置く。

(目的)

第3条 本会は会員相互の親睦を図り、琉球古典音楽野村流音楽の普及高揚に努め、もって本会の発展に期することを目的とする。

(組織)

第4条 本会は前条の趣旨に賛同する者で組織する。

2 本会は各地域及び海外に支部を置くことができる。

3 本会に入会しようとする者は本会の支部に入会し、支部長を経て会費を納入しなければならない。

4 本会の会員は琉球古典音楽野村流の他の団体へ所属してはならない。

第2章 事業

(事業)

第5条 本会は第3条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 琉球古典音楽野村流音楽の研究
- (2) 師範会及び教師研修会の実施
- (3) 舞踊及び組踊の地謡並びに伴奏者の養成
- (4) 工工四の印刷及び発刊
- (5) 研究発表並びに合同演奏会の開催
- (6) 師範・教師の免許審査及び免許状の交付
- (7) 琉球古典音楽の文献の収集及び保存
- (8) その他必要な事業

第3章 役員及び事務局員

(役員)

第6条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会長1名、副会長2名、理事若干名、監事3名、幹事、相談役若干名、顧問若干名
- (2) 本会の役員は名誉職とする。

(役員選出)

- 第7条** 会長、副会長、監事は、理事会において選出し、総会の承認を得るものとする。
- 2 理事は各支部より、会員50名につき1名の割で選出し、総会の承認を得るものとする。ただし、会員50名に満たない支部は支部長が理事となる。
 - 3 幹事は支部長をもって充てる。
 - 4 相談役は、会員で功労のあった者の中から理事会で選出し、総会の承認を得るものとする。
 - 5 顧問は、学識経験者から会長が理事会にはかつて推戴する。

(役員の仕事)

- 第8条** 会長は、本会を代表し、会務を統括する。
- 2 副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときは、これを代理する。
 - 3 理事は、理事会を構成し、第14条の運営事項を審議する。
 - 4 監事は、会務並びに会計を監査し、理事会並びに総会に報告する。
 - 5 相談役は理事会に出席してその諮問に応じ、又は意見を述べることができる。

(事務局員)

- 第9条** 本会に事務局長を1名、書記若干名、会計1名を置き、各々会長が推薦して理事会の承認を得るものとする。
- 2 事務局長は会長の指示を受け会務を処理し、議事録・会計簿・会員名簿・備品台帳・その他の簿冊を保管する。
 - 3 書記・会計は事務局長の指示を受け、各々の会務を処理する。

(役員の仕事)

- 第10条** 役員の仕事は、2年とし、再選を妨げない。ただし、補欠の仕事は、前任者の残任期間とする。

第4章 会議

(会議)

- 第11条** 本会の会議は総会と理事会及び幹事会とする。

(総会)

- 第12条** 定期総会は年1回春に行う。ただし、会長又は理事会において必要であると認めるときは臨時総会を開催することができる。
- 2 総会は会長が招集し、議長となる。

(総会の承認事項)

第13条 事業及び予算に関する事項

- 2 会則及び規定の改廃
- 3 役員を選任
- 4 その他の事項

(理事会の決議事項)

第14条 理事会は会長が招集し、次の事項を審議する。議長は理事の中から

そのつど選出する。

- (1) 各役員を選出
- (2) 事業並びに会務報告、決算の承認
- (3) 事業計画並びに会務、予算の審議決定
- (4) 会則及び規定の改廃の審議決定
- (5) 免許審査委員の選定
- (6) 支部の認定
- (7) 会運営のための費用弁償の審議決定
- (8) その他本会運営に必要な事項

(幹事会)

第15条 幹事会は会長が招集し、次の事項を審議する。

- (1) 理事会に付すべき事項
- (2) その他本会運営に必要な事項

(議事)

第16条 議事は出席者の過半数以上で決議する。

第5章 免許

(免許)

第17条 本会の師範・教師の免許審査については別に定める免許審査規程による。

第6章 会員の権利義務

(権利義務)

第18条 本会の会員は第3条の目的に添って努力しなければならない。

- 2 本会の会則に違反し、本会の名誉を毀損した者は理事会の決議により除名することができる。
- 3 本会を脱退し又は除名された者は、本会に係わるすべての権利を失う。

第 7 章 会 計

(経 費)

第 19 条 本会の経費は会員の会費・寄付金・その他の収入による。

(会 費)

第 20 条 本会の会費は年 2,000 円、国外支部は 2 ドルとする。

ただし、14 歳以上 20 歳未満は 500 円とする。

- 2 本会に所属する満 80 歳以上の会員は 1,000 円とし、研究所長は 2,000 円とする。ただし、会費以外の負担義務を免除する。

(会計年度)

第 21 条 本会の会計年度は毎年 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までとする。

第 8 章 慶 弔

(慶 弔)

第 22 条 慶弔については別に定める。

第 9 章 委 任

(委 任)

第 23 条 本会運営上必要な規程、要綱等は別に定める。

附 則

- (1) 本会則は昭和 51 年 4 月 1 日施行する。
- (2) 本会則は昭和 58 年 5 月 15 日に一部改正し、当日施行する。
- (3) 本会則は昭和 59 年 5 月 20 日に一部改正し、当日施行する。
- (4) 本会則は昭和 62 年 3 月 1 日に一部改正し、当日施行する。
- (5) 本会則は平成 8 年 4 月 1 日に一部改正し、当日施行する。
- (6) 本会則は平成 13 年 5 月 20 日に一部改正し、当日施行する。
- (7) 本会則は平成 14 年 5 月 19 日に一部改正し、当日施行する。
- (8) 本会則は平成 15 年 5 月 18 日に一部改正し、当日施行する。
- (9) 本会則は平成 21 年 5 月 17 日に一部改正し、当日施行する。
(注・本会則は縦書きであるが資料の体裁上横書きにした。)
- (10) 本会則は平成 22 年 5 月 16 日に一部改正し、当日施行する。
- (11) 本会則は平成 27 年 5 月 17 日に一部改正し、当日施行する。
- (12) 本会則は令和 2 年 5 月 17 日に一部改正し、当日施行する。

(13) 本会則は令和6年5月19日に一部改正し、令和6年4月1日より施行する。

(14) 本会則は令和8年5月17日に一部改正し、令和8年4月1日より施行する。

慶 弔 規 程

第1条 会則第22条については本規程に定める。

(慶 事)

第2条 本会各支部又は、他団体の総会、発表会等へ祝儀を贈る事ができる。

(弔 事)

第3条 会長、副会長及び同経験者については、会として新聞広告・供花をすることができる。

2 顧問、相談役、監事、理事、事務局員については、供花または香典をすることができる。また、その遺族の負担により会長名で新聞広告することができる。

附 則

(1) この規程は、平成15年5月18日より施行する。

(2) この規程は、平成22年5月16日に一部改正し、当日より施行する。

(3) この規程は、令和元年5月19日に一部改正し、当日より施行する。

琉球古典音楽 野村流音楽協会 師範会並びに教師研修会規程

(名称)

第1条 琉球古典音楽 野村流音楽協会 師範会並びに教師研修会と称する。

(目的)

第2条 会則第5条に基づき師範、教師の資質の向上を目的とする。

(組織及び運営)

第3条 師範会、教師研修会の組織及び運営について次のとおりとする。

- 1 師範会、教師研修会の役員として幹事若干名を置く。
- 2 師範会、教師研修会の役員は、各支部輪番制とし、任期は1年とする。ただし、再任は妨げない。
- 3 第1項及び第2項の役員は、師範会、教師研修会の運営に当たる。
- 4 研修に必要な指導助言者若干名を委嘱する。

(事業)

第4条 第2項の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 師範会は、5月、8月、11月、2月に教師研修会は、4月、7月、10月、1月、に定例研修会を行う。
- (2) その他必要な事業。

(師範、教師の義務)

第5条 師範、教師は積極的に師範会、教師研修会に参加しなければならない。

(協議)

第6条 その他研修活動に必要な事項については、その都度会長と協議する。

附則

- (1) この規程は、平成22年5月16日より施行する。
- (2) この規程は、平成27年5月17日より施行する。
- (3) この規程は、令和7年5月18日より施行する。
- (4) この規程は、令和8年5月17日より施行する。

免許審査規程

第1条 琉球古典音楽野村流音楽協会の師範、教師の免許審査は本規程による。

(免許審査)

第2条 本会の師範、教師になろうとする者は本会の免許審査委員会が行う審査を受けなければならない。

2 審査部門は歌・三線、笛、胡弓の各部門別とする。

3 課題曲は暗譜で演奏する。

(免許状)

第3条 本会の免許状は、前条の審査に合格した者に交付する。

(免許審査委員会)

第4条 本会に、師範免許審査委員会及び教師免許審査委員会をおく。

2 審査委員は沖縄県内各々10名、県外支部、国外支部各々若干名を理事会において選任し、審査委員会は選任された委員と会長でもって構成し、会長が委員長となる。

3 審査委員の任期は1年とする。

ただし、審査委員の年齢について教師審査委員は、満70歳まで、師範審査委員は、満75歳までとする。年齢の達する基準日は当該年度の3月31日とする。

(受験資格)

第5条 教師免許

本会にひき続き5年以上所属する満20歳以上の者で、教師又は師範並びに支部長が推薦した者。

2 師範免許

本会の教師免許を得てから6年（免許合格年度を含む）以上の会員で、師範並びに支部長が推薦する本会の教師であること。

3 受験資格の特例については、理事会の承認を得なければならない。

(審査免許の方法)

第6条 教師免許

(1) 教師免許は第(2)号の課題曲イ、ロの中からそれぞれ一節を、各支部長で構成する運営委員会を設置して決定した同節を独唱して、実技の審査を受ける。

(2) 課題曲

- イ 作田節、ちゃんな節、首里節、しょどん節、暁節、茶屋節。
- ロ 干瀬節、子持節、散山節、仲風節、述懐節

(3) 満70歳以上の者(本会で芸歴8年以上)については審査委員会の選考で実技審査を免除することができる。年齢の達する基準日は審査委員会の選考会議の日の属する月の末日とする。

2 師範免許

師範免許は、人物考査と実技審査とし、人物考査に選考された後、実技審査を受ける。

(1) 人物考査

人物考査は次の事項に該当する者で、審査委員会で選考する。

- イ 人柄、識見、技量共に優れた者。
- ロ 子弟の養成に尽力した者。
- ハ 本会の運営発展に尽力した者。

(2) 実技審査

実技審査は第(3)号の課題曲を、3名以内で斉唱又は独唱して審査を受ける。

ただし、教師免許取得後8年を経過した満75歳以上の者については、審査委員会の選考で実技審査を免除することができる。年齢の達する基準日は、審査委員会の選考会議の日の属する月の末日とする。

(3) 課題曲

長ちゃんな節・仲節を隔年交互とする

3 笛、胡弓部門の課題曲は、教師は作田節、師範は茶屋節とし、各々1名で演奏し審査を受ける。なお、いずれも歌、三線の伴奏は実演又は運営委員会で決定した歌三線のみの音源を使用する。ただし、実演の場合は2名以内とする。

4 受験番号の抽選は、実技審査約2週間前事務局で抽選する。

5 県外支部会員は、前第1項、第2項に準じ県外支部審査委員会において、審査を受けることができる。

6 国外支部会員は、前第1項、第2項に準じ国外支部審査委員会において、審査を受けることができる。

(1) 教師、師範の受験者は、支部長の推薦を得て会長宛に免許状の申請をする。

(2) 実技審査に関し審査委員会は、演奏の音源を録音し（伴奏なし）、本部へ録音データを送付する。また、実技免除者については、同様とし、会長は免許審査規程に基づき免許状を付与する。

(選考基準)

第7条 実技審査の選考基準は調絃、拍子、音程、弾奏、声出し、声切り、姿勢、発想、発声、発音、節入りとし、調絃(音高)は自由とする。

(合格基準)

第8条 合格基準は審査委員会において定める。

(審査期日)

第9条 免許審査は毎年1回これを行う。審査期日は理事会で定め、2箇月前に各支部に通達する。

(合格発表)

第10条 各審査委員会は審査終了後速やかに協議して合格者を決定し発表する。

(免許状付与)

第11条 免許状は総会において付与する。

(受験料並びに免許状交付料)

第12条 受験料及び免許状交付料は下記のとおりとする。

(1) 受験料は10,000円とする。ただし、国外は半額とする。

(2) 免許交付料は、教師20,000円、師範30,000円とする。

(委任) 第13条 本規程運用上必要な事項は別に定める。

附 則

(1) この規程は昭和51年4月1日に実施する。

(2) この規程は昭和59年5月20日に一部改正し、当日施行する。

(3) この規程は昭和62年3月1日に一部改正し、当日施行する。

(4) この規程は平成5年5月16日に一部改正し、当日施行する。

(5) この規程は平成11年5月6日に一部改正し、当日施行する。

(6) この規程は平成12年5月21日に一部改正し、当日施行する。

(7) この規程は平成17年5月20日に一部改正し、当日施行する。

(8) この規程は平成17年9月10日に一部改正し、当日施行する。

(9) この規程は平成21年5月17日に一部改正し、当日施行する。

(10) この規程は平成23年5月15日に一部改正し、当日施行する。

第6条第2項第3号の課題曲について、平成23年度は仲節とする。

(注：本規程は縦書きであるが資料の体裁上横書きにした。)

(11) この規程は平成27年5月17日に一部改正し、当日施行する。

(12) この規程は平成29年5月21日に一部改正し、当日施行する。

(13) この規程は、令和2年5月17日に一部改正し、当日施行する。

(14) この規程は、令和5年5月21日に一部改正し、当日施行する。

(15) この規程は、令和8年5月17日に一部改正し、当日施行する。

琉球古典音楽野村流音楽協会 組踊及び舞踊地謡研修部規程

1. 名 称

琉球古典音楽 野村流音楽協会 組踊及び舞踊地謡研修部と称する。

2. 目 的

会則第5条の規程に基づき、組踊及び舞踊地謡並びに伴奏者の育成強化をはかることを目的とする。

3. 組織及び運営

研修部の組織及び運営については次のとおりとする。

(1) 各研修部に次の役員をおく。

イ、部長	1名
ロ、副部長	1名
ハ、書記	1名
ニ、会計	1名
ホ、幹事	若干名

(2) 役員は部員の中から互選し任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。

(3) 研修に必要な指導助言者若干名を委嘱する。

(4) 第(1)号の役員は、幹事会を構成し部の運営にあたる。

(5) 各部の部員数は三線40名、箏10名、その他器楽若干名を限度とする。

4. 部員の資格条件

部員の資格条件は次の通りとする。

(1) 入部資格は教師以上、又は芸コン優秀賞取得し、師匠の推薦の資格を有する者とする。

(2) 音声良好にして歌唱力を有し、地謡活動に積極的で、かつ、研究熱心なるもの。

(3) 支部長の推薦を経て本部幹事会で決める。

(4) 在部年数は両部共5年とする。

再度入部希望者の場合は通算10年とする。

(5) 同時に両部の部員となることはできない。

5. 事 業

第2項の目的を達成するため次の事業を行う。

(1) 月例研修会を行う。

(2) 年1回の定期研修発表会を行うことができる。ただし、本会の事業日程に組入れ本会の事業として行う。

(3) 必要に応じ自主公演をすることができる。

6. 伴奏者

- (1) 伴奏者については、所属団体長の推薦を経て、会長の承認を得るものとする。
- (2) 箏伴奏者の在部年数を5年とする。

7. その他研修活動に必要な事項については、そのつど会長と協議する。

8. 部員の義務

- (1) 部員は積極的に研修会に参加しなければならない。
- (2) 部員は、無断で連続3回以上欠席した場合及び年間出席率50%に達しないものは自動的に部員の資格を失う。

9. 修了者の義務

修了者は、研修部の必要に応じ協力しなければならない。

- (1) 修了者は、研修部において得た技能を支部の要求に応じ協力しなければならない。

附 則

- (1) この規程は昭和60年4月1日より実施する。
- (2) この規程は平成2年4月28日に一部改正し、当日施行する。
- (3) この規程は平成9年12月30日に一部改正し、当日施行する。
- (4) この規程は平成21年5月17日に一部改正し、当日施行する。
(注・本規程は縦書きであるが資料の体裁上横書きにした。)
- (5) この規程は平成27年5月17日に一部改正し、当日施行する。
- (6) この規程は令和8年5月17日に一部改正し、当日施行する。

旅費に関する規程

(目的)

第1条 本規程は会則第23条に基づき、会員が公務のため出張する場合の旅費支給に必要な事項を定めることを目的とする。

(旅費の支給)

第2条 本会の会員が公務出張するときには、旅費を支給する。

(支給する額)

第3条 前条の規定により旅費支給については、次の額を支給する。

- (1) 交通費一回……………1,000円(但し、県内に限る)
- (2) 航空賃、船賃等……………実費
- (3) 日 当……………3,000円(但し、宿泊を伴うもの)
- (4) 宿泊料……………10,000円(但し、県内は実費とする。)

(出張命令)

第4条 出張は、会長の委任で行なう。

- 2 委任権者の会長は、出張者への伝達手段として、文書、電話等によって行なうこととする。

(協議)

第5条 その他旅費に必要な事項については、その都度会長と協議する。

附 則

- 1 この規程は、平成25年4月1日より施行する。

表彰に関する規程

(目的)

第1条 本規程は会則第23条に基づき、表彰に関する必要な事項を定めることを目的とする。

(被表彰者)

第2条 被表彰者は、会員又は他団体等とする。

(表彰の基準)

第3条 被表彰者が以下の事項についてその活動が顕著なものとする。

- (1) 本部・支部の組織運営に功績があった者
- (2) 所属会員が15名以上で5年以上継続している研究所長
- (3) 教師・師範免許審査員の任期を満了した者
- (4) 人格円満にして人間性豊かな人格高潔な者
- (5) 本会の発展に協力、寄与した個人及び団体
- (6) その他

(賞状等の授与)

第4条 表彰は、表彰状、感謝状、功労賞等を贈呈し、記念品を添えることができる。

(表彰の時期)

第5条 表彰は、総会又は記念事業の開催をもって行う。

(表彰の手続き)

第6条 表彰の手続きについては、選考委員会を設置し、同委員会において被表彰者を決定し、理事会、相談役会に報告する。但し、第3条第2号及び第3号の規定については執行部で対応する。

(選考委員会)

第7条 選考委員会は、本会の正副会長及び幹事の中から若干名をもって組織し、会長が委員長となる。

附 則

1. この規程は、平成26年5月18日より施行する。
2. 第3条第2号については、平成21年度より起算する。

工工四監修・編集・校正等に関する要綱

(趣 旨)

第1条 この要綱は、親しみ易く、正確な工工四の発行を目指し、監修・編集・校正に係る円滑な事務の推進を図り、古典音楽の普及と琉球古典音楽野村流音楽協会の発展に資することを趣旨とする。

(委員会の設置)

第2条 前条の趣旨を達成するため、次の各種委員会を設置する。

- (1) 工工四監修委員会
- (2) 工工四編集校正委員会

(定 義)

第3条 監修・編集並びに校正は、次のように定義する。

- (1) 監修とは、伊差川世瑞・世禮國男共著「聲樂譜附工工四」の歴史と、特徴を踏まえ、工工四のあり方を研究し、随時工工四の絃楽譜声楽譜並びに歌詞等の記述、編集等の監督をすることをいう。
- (2) 編集とは、特定の目的の下に、情報を収集し、整理、校正することをいう。
- (3) 校正とは、校正刷りと原稿を比べ合わせて、活字の組み誤り、不備等を正し、印刷に付すことをいう。

(委員長・副委員長の選任並びに幹事)

第4条 委員会の迅速な運営を図るため、それぞれ委員長、副委員長・幹事を置く。

- 2 委員長・副委員長は、委員の互選により選出する。
- 3 幹事は執行部事務局員から一人充てる。

(委員長・副委員長並びに幹事の役割)

第5条 委員長・副委員長並びに幹事の役割は、つぎのとおりとする。

- (1) 委員長は、委員会の意見を集約する。
- (2) 副委員長は、委員長を補佐し、委員長事故あるときは、これを代理する。
- (3) 幹事は、委員会に必要な資料を整理し、提供し、協議事項を記録保存する。

(委員の委嘱)

第6条 委員の委嘱は、幹事会、理事会の承認のもと会長が委嘱する。

(委員の任期)

第7条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任は妨げない。

(委任事項)

第8条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

- (1) この要綱は、平成20年9月27日より施行する。
- (2) この要綱は、平成24年5月20日に一部改正し、同日施行する。

琉球古典音楽 野村流音楽協会「資料収集編集委員会」 設置要綱

(趣旨)

- 1、この要綱は、琉球古典音楽野村流音楽協会会則第5条第1項第(1)号及び第(7)号に基づき「資料収集編集委員会」(以下「委員会」という。)の組織、運営その他必要な事項を定める。

(設置)

- 2、資料等の収集・編集の円滑な推進のため「資料収集編集室」を会長所在地に設置する。

(任務)

- 3、委員会は、会長の諮問に応じてつぎの各号に掲げる事項を推進する。
 - (1) 資料等の収集・保存・活用に関すること。
 - (ア) 本会が発行する工工四及び会誌その他の発刊物並びに琉球音楽に関する文献・資料等の収集
 - (イ) 本会の活動に係る文書・写真・映像等の保存
 - (ウ) 「琉球古典音楽 野村流音楽協会アーカイブ」を設置し、会員並びに一般愛好者の活用を図る。
 - (2) 会誌『ちゃんな』の発刊に関すること。
 - (ア) 会誌『ちゃんな』編集の基本方針の設定
 - (イ) 会誌『ちゃんな』編集に関する資料収集及び執筆依頼
 - (3) その他、会則第5条第1項第(1)号及び第(7)号の推進に関すること。

(組織)

- 4、委員会は、10名以内で組織し会員のうちから理事会で選出し、会長が委嘱する。

(任期)

- 5、委員の任期は2年とする。ただし、再任することができる。
委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の在任期間とする。

(委員長及び副委員長)

- 6、委員会に委員長及び副委員長を置く。
 - (2) 委員長及び副委員長は委員の互選により定める。
 - (3) 委員長は委員会を代表し、会務を総理する。
 - (4) 副委員長は委員長を補佐し、委員長が欠けたときはその職務を代理する。

(幹事)

- 7、委員会に幹事を置き、委員会に関する事務を担当する。
- 8、この要綱に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は会長が定める。

附則

- (1) この要綱は、野村流音楽協会会誌『ちゃんな』編集委員会(平22年5月16日施行)を発展的に改定し、平成24年5月20日に施行する。
- (2) この要綱は平成27年5月17日に一部改正し、当日施行する。

【令和7年度 組踊地謡研修部 修了者】

修了番号	氏名	支部名	部門	修了番号	氏名	支部名	部門
351	山城豊	読谷	三線	352	福原武	読谷	三線
353	新屋忠男	具志川	三線	354	天久和子	乾流・和の会	太鼓

【令和7年度 舞踊地謡研修部 修了者】

修了番号	氏名	支部名	部門	修了番号	氏名	支部名	部門
429	森田輝子	那覇	三線	430	久保田諒	コザ	三線
431	小嶺克仁	コザ	三線	432	七里元晴	関東	三線
433	平良律子	石川	箏	434	大城順子	北部	箏



【令和7年度 師範免許合格者】

《三線の部》課題曲：「仲 節」

免許番号	氏名	支部名	免許番号	氏名	支部名	免許番号	氏名	支部名
1335	荒井祐子	コザ	1336	池原雅人	コザ	1337	金城あかね	コザ
1338	西山朝子	関西	1339	木下裕之	関西	1340	平井清乙	関東
1341	小森信	関東	1342	柳沢乙穂	関東	1343	松島恵美	コザ
1344	仲尾喬	コザ	1345	金城諭	コザ	1346	宮國春一	那覇

【笛】課題曲：「茶屋節」

免許番号	氏名	支部名
27	井上由紀子	那覇

【令和7年度 教師免許合格者】

《三線の部》課題曲：「作田節」「散山節」

免許番号	氏名	支部名	免許番号	氏名	支部名	免許番号	氏名	支部名
3116	箕輪美奈子	コザ	3117	江上千沙	コザ	3118	澤井雅子	コザ
3119	高田万里子	宜野湾	3120	知念美佐紀	読谷	3121	高宮城実昭	石川
3122	伊佐総子	今帰仁	3123	建部真子	関西	3124	親田鈴	具志川
3125	宮国和広	那覇	3126	新垣和彦	那覇	3127	眞喜志佑希子	嘉手納
3128	渡邊規矩郎	宜野湾	3129	イングラム幸地好乃	ハワイ			

【笛】課題曲：「作田節」

免許番号	氏名	支部名
54	我那覇生吉	宜野湾

令和7年度 第19回琉楽奨励賞 合格者

銅賞 三線79名 笛4名 胡弓1名 合計84名

氏名	学校名	指導者	支部
照屋修士	名護小学校	島袋功	名護
古波蔵音萌	高良小学校	内間安亨	コザ
東門結愛	美東小学校	内間安亨	コザ
古謝碧惟	宮里小学校	内間安亨	コザ
長濱愛虹	宮里小学校	内間安亨	コザ
川崎紋央	あげな中学校	内間安亨	コザ
眞玉橋姫愛	宮里小学校	内間安亨	コザ
比嘉優日	諸見小学校	内間安亨	コザ
伊舎堂心奏	中の町小学校	内間安亨	コザ
翁長文武路	浜川小学校	内間安亨	コザ
桑江姫叶	美東小学校	内間安亨	コザ
三谷莉里愛	美東中学校	内間安亨	コザ
比嘉美結	読谷小学校	照屋早月	読谷
知花カイラニ	渡慶次小学校	屋良朝清	読谷
玉城岳空	喜名小学校	屋良朝清	読谷
上江田留奈	読谷中学校	屋良朝清	読谷
安里心希	読谷小学校	山城豊	読谷
安井稟莉	読谷小学校	山城豊	読谷
太田寧音	今帰仁小学校	与那嶺直樹	今帰仁
黄学	今帰仁小学校	与那嶺直樹	今帰仁
柳堀由樹	今帰仁小学校	与那嶺直樹	今帰仁
與那嶺結琉	今帰仁小学校	与那嶺直樹	今帰仁
黒島さくら	今帰仁小学校	与那嶺直樹	今帰仁
比嘉莉壱	今帰仁小学校	与那嶺直樹	今帰仁
山城颯翔	今帰仁小学校	与那嶺直樹	今帰仁
運天陽波	今帰仁小学校	与那嶺直樹	今帰仁
八谷佳奈	屋我地ひるぎ園	与那嶺直樹	今帰仁
運天希帆	今帰仁小学校	与那嶺直樹	今帰仁
八谷優之介	屋我地ひるぎ園	与那嶺直樹	今帰仁
日高孝介	今帰仁小学校	与那嶺直樹	今帰仁
上間双葉	今帰仁小学校	与那嶺直樹	今帰仁
金城莉歩	南風原小学校	大城守政	那覇
金城柚季	南風原小学校	大城守政	那覇
小橋川大翔	北丘小学校	與那嶺康	那覇
宮里怜	北丘小学校	與那嶺康	那覇

氏名	学校名	指導者	支部
稲嶺志帆	宜野湾小学校	新城康弘	宜野湾
又吉英奈	宜野湾小学校	新城康弘	宜野湾
砂川隆晴	大山小学校	新城康弘	宜野湾
藏元律	大謝名小学校	新城康弘	宜野湾
仲村来未	宜野湾小学校	新城康弘	宜野湾
柳沢まみ	北谷第二小学校	伊計秀子	北谷
仲村華乃	宜野湾小学校	伊計秀子	北谷
江上あさひ	球陽中学校	伊計秀子	北谷
仲村広斗	北谷中学校	仲尾勝成	コザ
西里有紗	松島中学校	下地彩香	コザ
Abigail・A・Reining	カテナハイスクール高	金城光信	コザ
金城遼太郎	大宮小学校	金城ヤス子	名護
仲村和紗	大宮小学校	比嘉啓太	名護
大城栄丸	屋部中学校	比嘉啓太	名護
上原優花	中原小学校	仲間稔	具志川
東江想叶	東江小学校	東江司	名護
岸本貴一郎	屋部小学校	仲宗根朝儀	名護
小波津麻滯	天底小学校	仲宗根朝儀	名護
岸本貴心	屋部小学校	仲宗根朝儀	名護
渡慶次真旺	美里小学校	久場良昌	コザ
多和田小夏	宜野湾小学校	新城康弘	宜野湾
比嘉駿太	古堅小学校	比嘉寛	読谷
吉田謙心	与那城小学校	古謝義和	具志川
上原弦	与勝第二中学校	古謝義和	具志川
仲里琉夏	諸見小学校	久場良昌	コザ
古謝玲奈	伊波小学校	糸数くるみ	石川
古謝梨乃	伊波小学校	糸数くるみ	石川
玉城詩音	美東中学校	糸数くるみ	石川
渡久地結優	山内小学校	糸数くるみ	石川
佐次田士夕	伊波小学校	糸数くるみ	石川
大城羽愛	仲泊小学校	糸数くるみ	石川
仲尾笑奈	伊波小学校	糸数くるみ	石川
比嘉愛	伊波中学校	糸数くるみ	石川
桑江結菜	伊波中学校	糸数くるみ	石川
金城李華	美原小学校	山城艶子	具志川
小川十稀丸	赤道小学校	山城艶子	具志川
仲本花楓	天眼小学校	山城艶子	具志川
儀武美樹夏	中原小学校	山城艶子	具志川

氏名	学校名	指導者	支部
儀武美月樹	にじの色こども園	山城艶子	具志川
安慶名桃子	具志川中学校	山城艶子	具志川
仲田琉音	瀬底小学校	内間清彦	本部
笛			
河村尚勇	東京三育小学校	小那覇安睦	関東
屋良凜太郎	渡慶次小学校	中野夢	名護
星加凜織	喜名小学校	中野夢	名護
比嘉美結	読谷小学校	中野夢	名護
胡弓			
荒木翠	あげな中学校	古謝義和	具志川

銀賞 三線51名

氏名	学校名	指導者	支部
荷川取宙	安慶田中学校	内間安亨	コザ
上地彩菜	北中城島袋小学校	内間安亨	コザ
鍋倉秀樹	諸見小学校	内間安亨	コザ
翁長千代路	浜川小学校	内間安亨	コザ
三谷莉希愛	美東小学校	内間安亨	コザ
屋比久梨央奈	美東小学校	内間安亨	コザ
新城倫子	高江州中学校	仲村渠達也	コザ
神谷怜奈	沖縄尚学高校	照屋早月	読谷
山城佳子	喜名小学校	屋良朝清	読谷
喜友名優佳	読谷小学校	屋良朝清	読谷
喜屋武和紗	本部小学校	与那嶺直樹	今帰仁
平良海晴	今帰仁小学校	与那嶺直樹	今帰仁
平良康	今帰仁小学校	与那嶺直樹	今帰仁
真部湊太	今帰仁小学校	与那嶺直樹	今帰仁
上間一凜	今帰仁小学校	与那嶺直樹	今帰仁
新垣雅莉	南風原小学校	大城守政	那覇
富里珠和	南風原小学校	大城守政	那覇
富里柚菜	南風原小学校	大城守政	那覇
又吉結愛	宜野湾中学校	新城康弘	宜野湾
稲嶺羽琉	宜野湾中学校	新城康弘	宜野湾

氏名	学校名	指導者	支部
伊 佐 唯 華	大 山 小 学 校	新 城 康 弘	宜 野 湾
宮 城 十 爽	普 天 間 小 学 校	新 城 康 弘	宜 野 湾
上 間 琉 生	北 玉 小 学 校	仲 尾 勝 成	コ ザ
上 間 夢 生	桑 江 中 学 校	仲 尾 勝 成	コ ザ
大 湾 宗 佑	北 中 城 小 学 校	真 栄 喜 清 次	石 川
濱 崎 彩 心	北 中 城 小 学 校	久 場 良 昌	コ ザ
長 野 鈴 美 音	室 川 小 学 校	久 場 良 昌	コ ザ
神 田 拓 翔	美 東 小 学 校	久 場 良 昌	コ ザ
伊 是 名 虹 南	美 東 中 学 校	久 場 良 昌	コ ザ
河 村 尚 勇	東 京 三 育 小 学 校	小 那 霸 安 睦	関 東
外 間 律 輝	嘉 数 小 学 校	玉 城 巖	宜 野 湾
大 城 慶 志 郎	あ げ な 中 学 校	池 宮 城 克 也	具 志 川
伊 豆 味 颯 生	大 北 小 学 校	松 田 宏 美	名 護
池 原 杏 香	恩 納 小 学 校	糸 数 くるみ	石 川
有 銘 奏 音	城 前 小 学 校	糸 数 くるみ	石 川
ドミンゲス瀬怜菜	く ば さ き 高 校	糸 数 くるみ	石 川
ドミンゲス梨愛菜	く ば さ き 高 校	糸 数 くるみ	石 川
比 嘉 乙 葵	伊 波 小 学 校	糸 数 くるみ	石 川
石 川 な つ め	伊 波 小 学 校	糸 数 くるみ	石 川
中 真 莉 人	中 原 小 学 校	山 城 艶 子	具 志 川
中 真 由 藍	中 原 小 学 校	山 城 艶 子	具 志 川
座 喜 味 知 香	沖 縄 ア ミ ー ク ス イ ン タ ー ナ シ ョ ナ ル 小 学 校	山 城 艶 子	具 志 川
比 嘉 み な 美	赤 道 小 学 校	山 城 艶 子	具 志 川
仲 田 奏 音	瀬 底 小 学 校	内 間 清 彦	本 部
平 良 玲 於 奈	瀬 底 小 学 校	内 間 清 彦	本 部
上 間 琉 花	瀬 底 小 学 校	大 城 直 人	本 部
大 城 羽 琉 馬	瀬 底 小 学 校	大 城 直 人	本 部
仲 村 昊 粹	与 勝 中 学 校	儀 保 明 美	具 志 川
イングラム ケアヒ	カメハメハカパラマハイス ク ル 中	金 城 光 信	コ ザ
イングラム ケアヌ	ボイジャーパブリックチャー タ ー ス ク ー ル 小	金 城 光 信	コ ザ
宇 根 祐 太 朗	北 中 城 中 学 校	下 地 彩 香	コ ザ

金賞 三線32名

氏名	学校名	指導者	支部
上間健士朗	浦西中学校	島袋功	名護
照屋希歩	名護小学校	島袋功	名護
足立旺亮	琉球大学教育学部附属小学校	島袋英治	コザ
伊禮晴貴	コザ中学校	内間安亨	コザ
桃原英士	桑江中学校	内間安亨	コザ
野村癒華	久米島西中学校	中島美幸	那覇
山里心花	久米島西中学校	中島美幸	那覇
崎濱星七	大宮小学校	島袋功	名護
波平心和	喜名小学校	照屋早月	読谷
新里真汰	今帰仁中学校	与那嶺直樹	今帰仁
宮城莉衣奈	今帰仁中学校	与那嶺直樹	今帰仁
上原珠斗	今帰仁中学校	与那嶺直樹	今帰仁
島袋結衣	今帰仁中学校	与那嶺直樹	今帰仁
平良心鼓	南風原小学校	大城守政	那覇
宮里穂音奈	南風原小学校	大城守政	那覇
米須心望	宜野湾小学校	新城康弘	宜野湾
又吉香凜	宜野湾小学校	新城康弘	宜野湾
真栄平玲音	宜野湾小学校	新城康弘	宜野湾
大西祐奈	宜野湾小学校	新城康弘	宜野湾
宮良彩衣里	はごろも小学校	新城康弘	宜野湾
比嘉まりな	大山小学校	新城康弘	宜野湾
松竹菜月	大謝名小学校	新城康弘	宜野湾
渡慶次蒼	美里小学校	久場良昌	コザ
玉城楓佳	美東小学校	玉城巖	宜野湾
源古綾花	あげな中学校	古謝義和	具志川
桑鶴志歩	あげな小学校	古謝義和	具志川
桑鶴歩	あげな小学校	古謝義和	具志川
大城ひなた	恩納小学校	糸数くるみ	石川
座喜味盛大	北美小学校	山城艶子	具志川
當銘姫南詩	高江州小学校	山城艶子	具志川
當銘姫乃	高江州小学校	山城艶子	具志川
阿比留央仁	瀬底小学校	内間清彦	本部

会長賞 三線17名

氏名	学校名	指導者	支部
高江州杏寿	コザ中学校	内間安亨	コザ
島袋愛香	諸見小学校	内間安亨	コザ
中島和莉	久米島西中学校	中島美幸	那覇
宇根美羽	球美中学校	中島美幸	那覇
呉屋茉里華	古堅中学校	照屋早月	読谷
呉屋結奈	古堅小学校	照屋早月	読谷
與那嶺栄路	今帰仁中学校	与那嶺直樹	今帰仁
新城愛莉	嘉数小学校	新城康弘	宜野湾
金城もえ	島袋小学校	金城光信	コザ
内間陽大	今帰仁中学校	吉元博昌	名護
近藤真主	越来中学校	西村正吉	コザ
喜久山愛璃	中城南小学校	源河朝仁	宜野湾
與那嶺妃織	美里高校	古謝義和	具志川
伊豆味葵	大北小学校	松田宏美	名護
内間雪帆	伊波小学校	糸数くるみ	石川
久志麻彩柚	山内小学校	糸数くるみ	石川
糸数琉里羽	伊波小学校	糸数くるみ	石川

第59回琉球古典芸能コンクール受賞者

※ () 師匠名

◆最高賞【三線】19名

那覇支部 仲地咲子(與那嶺靖) 米良実紀子(仲嶺盛文)

コザ支部 平安子(糸数昌治) 澤井雅子(内間安勇) 上原快天(山内昌也) 嶺井さとみ(久場良昌)
安里恵美子(糸数昌治) 仲井間憲英(久場良昌) 照屋巖(高江洲昌市) 新里有未(與那覇徹)

嘉手納支部 喜友名富士子(崎濱秀光) 橘元悟(上地真理)

具志川支部 久高哲(赤嶺勝巳)

名護支部 中曾根亮(島袋功) 新垣和吉(比嘉正昭)

関東支部 佐藤究(宮森信次) 遠藤絵美(七里元晴) 宗像祥子(宮森信次) 谷莉珠(岡村祐介)

◆最高賞【笛】1名

那覇支部 太田順子(東江司)

◆優秀賞【三線】20名

宜野湾支部 高田万里子(宮城勝秀)

コザ支部 島袋桃香(内間安勇) 島袋清美(糸数昌治) 鈴木さほ子(與那覇徹) 齊藤愛美(山内昌也)
神田綾菜(久場良昌) 宮城愛花(久場良昌) 仲田裕茄(内間安勇)

嘉手納支部 眞喜志佑希子(崎濱秀光)

具志川支部 伊佐夏希(伊禮薫)

石川支部 高宮城実昭(照屋勝武)

読谷支部 古波蔵雅(照屋早月)

名護支部 神里利枝(島袋功) 具志堅政智(島袋功) 西 芳江(比嘉三男)

今帰仁支部 伊佐総子(与那嶺直樹)

関東支部 中川敏和(七里元晴) 松崎万(小那覇安睦)

関西支部 建部真子(新城浩文)

ハワイ支部 イングラム幸地好乃(屋宜盛一)

◆優秀賞【笛】6名

那覇支部 森由佳(真地利尚)

石川支部 古屋順子（古屋順子） 9

名護支部 宮城葵（中野夢） 赤嶺美智子（中野夢） 比嘉美和（中野夢） 名嘉眞知美（中野夢）

◆優秀賞【胡弓】 2名

読谷支部 伊波陽香留（照屋早月）

具志川支部 伊佐渚紗（伊禮薫）

◆新人賞【三線】 5 2名

那覇支部 柴山睦子（宮城武碩） 今井文江（仲嶺盛文） 田地川由佳（仲嶺盛文） 呉屋輪（渡慶次亨）

浦添支部 ナバレテ吉田ケンジ（長嶺ルーシー） 仲宗根弘将（銘苺盛隆）

コザ支部 知念和加子（宮平永次郎） 東和佳奈（金城光信） 渡久地優（宮平永次郎） 小島亞矢（仲村渠達也）
宮良愛琉（喜納吏一） 三小田吉那（内間安勇） 富島瑛喜（喜納吏一） 新里愁和（内間安勇）

嘉手納支部 松田悟（崎濱秀光）

石川支部 知念大智（知念政智） 古波蔵祐介（照屋勝武）

読谷支部 鉢嶺月映（照屋早月） 上地秋寧（照屋早月） 前原太陽（屋良朝清） 徳田佳音（照屋早月）

具志川支部 城間雄伍（徳原清文） 仲與根大和（徳門清春） 大城慶志郎（池宮城克成）

名護支部 島袋幸子（島袋功） 岸本望乃叶（島袋功） 角村佳吾（島袋功） 仲村静子（新城浩基）

比嘉美佐子（吉元和男） 兼次民江（新城浩基） 名城裕子（吉元和男） 鈴木杜萌（東江司）
名嘉真正一（東江司） 武村晃宗（東江司） 島袋秀章（比嘉正昭）

今帰仁支部 兼次成一（与那嶺直樹） 早瀬道生（与那嶺直樹） 嶋智（与那嶺直樹） 藤池明里（与那嶺直樹）
與那嶺栄路（与那嶺直樹）

本部支部 大城愛琉（大城直人） 上原一花（大城直人） 大城和奏（大城直人） 前泊英尚（大城直人）

伊是名支部 伊差川彩茄（東江清和）

関東支部 宮城暁（前田幸男） 佐藤志乃（宮森信次） 清川二紗子（小那覇安睦） 伊禮門房枝（宮森信次）

ハワイ支部 イングラムケアヒ（屋宜盛一） ウィレットマコ（仲兼久松）

◆新人賞【笛】 4名

名護支部 岸本綾乃（東江司） 照屋武市（中野夢） 松明磨美（中野夢） 喜友名若奈（中野夢）

◆新人賞【胡弓】 1名

具志川支部 成田楓馬（伊禮薫）

第10回おきなわ伝統芸能「若衆芸術祭」

令和7年12月21日(日)琉球新報ホール

	氏名	学校	指導者	支部	表彰
独唱 & 斉唱	大城昇馬	瀬底小学校	大城直人	本部	県教育長賞 琉球新報賞 若衆優秀賞
	山城愛樹	読谷小学校	屋良朝清	読谷	
	神田莉央菜	沖縄東中学校	久場良昌	コザ	
	金城 もえ	島袋小学校	金城光信	コザ	
	仲西汐癒	石川中学校	糸数くるみ	石川	
	照屋亜美	名護小学校	島袋功	名護	
	阿比留央仁	瀬底小学校	内間清彦	本部	
上原真花	瀬底小学校	大城直人	本部	斉唱(団体 選考委員長賞) 四つ竹(団体 若衆優秀賞)	
四つ竹 & 斉唱	照屋亜美	名護小学校	島袋功		名護
	照屋莉乃	名護中学校	島袋功		名護
	内間雪帆	伊波小学校	糸数くるみ		石川
	與那嶺栄路	今帰仁中学校	与那嶺直樹		今帰仁
	伊豆味葵	大北小学校	松田宏美		名護
	崎濱星七	大宮小学校	島袋功	名護	
上り口説 & 斉唱	當銘姫乃	高江州小学校	山城艶子	具志川	
	足立旺亮	琉球大学教育学部附属小学校	足立啓子	コザ	
	波平 心和	喜名小学校	照屋早月	読谷	
	大城ひなた	恩納小学校	糸数くるみ	石川	
	當銘姫南詩	高江州小学校	山城艶子	具志川	

賛助 出演	上り口説 笛	比嘉美結	読谷小学校	中野夢研究所
	幕開け太鼓	池原 心愛	恩納小学校	乾流太鼓和の会 天久和子太鼓 研究所/知念悦子太鼓研究所
	四つ竹太鼓	島袋 まりさ	内間小学校	
	上り口説太鼓	池原 心希	恩納小学校	
	舞踊(四つ竹)	玉城 琉虹	読谷高校	安座間本流 神谷みつ子琉舞研 研究所
		山岸 芽依	読谷中学	
		仲宗根 芽愛	読谷中学	
	舞踊(上り口説)	諸見里 琉生	読谷中学	
		當山 かりん	古堅中学	
		佐久川 愛海	古堅中学	

琉球古典音楽 野村流音楽協会 歴代会長一覧

歴代	会長名	在任期間	西暦	年
初代	伊差川世瑞	大正13年10月31日～昭和12年3月2日	1924～1937	13
2代	伊差川開栄	昭和12年5月1日～昭和15年7月日	1397～1940	3
戦時中～戦後		昭和15年7月日～昭和24年6月日	1940～1949	9
3代	与那覇政牛	昭和24年7月1日～昭和27年4月30日	1949～1952	3
4代	友寄隆賀	昭和27年5月1日～昭和27年9月14日	1952～1954	2
5代	池宮喜輝	昭和27年9月15日～昭和38年5月31日	1954～1963	9
6代	幸地亀千代	昭和38年6月1日～昭和44年9月24日	1963～1969	6
7代	西島宗二郎	昭和45年4月1日～昭和47年3月31日	1970～1972	2
8代	仲田清	昭和47年4月1日～昭和48年12月29日	1972～1973	1
9代	島袋正雄	昭和49年4月1日～昭和59年5月30日	1974～1984	10
10代	玉城宗吉	昭和59年6月1日～平成2年5月30日	1984～1990	6
11代	松田健八	平成2年6月1日～平成8年3月31日	1990～1996	6
12代	伊良波幸善	平成8年4月1日～平成14年3月31日	1996～2002	6
13代	喜友名朝宏	平成14年4月1日～平成20年3月31日	2002～2008	6
14代	照屋勝義	平成20年4月1日～平成24年3月31日	2008～2012	4
15代	神田米三	平成24年4月1日～平成28年3月31日	2012～2016	4
16代	長浜眞勇	平成28年4月1日～令和2年3月31日	2016～2020	4
17代	宮城勝秀	令和2年4月1日～令和6年3月31日	2020～2024	4
18代	糸数昌治	令和6年4月1日～	2024～	

入 部 申 請 書

令和 年 月 日

琉球古典音楽野村流音楽協会
会 長 系数 昌治 殿

組 踊 ・ 舞 踊 地謡研修部への入部を申請いたします。

部 門	三 線 ・ 笛 ・ 胡 弓 ・ 箏 ・ 太 鼓	
資 格	免 許 番 号	取 得 年 月 日
教 師・師 範		昭和・平成・令和 年 月 日
ふ り が な		
氏 名	印	
生 年 月 日	昭 和 ・ 平 成	年 月 日
郵 便 番 号	—	
住 所		
携 帯 電 話 番 号		

上記の会員の入部について推薦いたします。

_____ 支部

師 匠 _____ 印

琉球古典音楽野村流音楽協会 支部長 _____ 印

琉球箏曲興陽会 ・ 幸太鼓の会 ・ ()の会

会 長 _____ 印

